

Nesfield's English Grammar Series Book III

Translated into Japanese and Added with

Solution of Examples in the Text

喜内芳樹訳述

和字必用文典

第三卷講義

附練習解答

特27

497

NESFIELD'S
ENGLISH GRAMMAR SERIES.
BOOK III.

TRANSLATED INTO JAPANESE AND
ADDED WITH SOLUTION OF EXAMPLES
IN THE TEXT.

文學士 高山榮一 序

喜内芳樹譯述

いね
しる
るごふ
英文典第三卷講義

附練習解答

東京書肆

金刺氏發兌

特27

497

NESFIELD'S
ENGLISH GRAMMAR SERIES.
BOOK III.

TRANSLATED INTO JAPANESE AND
ADDED WITH SOLUTION OF EXAMPLES
IN THE TEXT.

文學士 高山榮一 序

喜内芳樹譯述

いねすふ
いするご
英文典第三卷講義

附練習解答



東京書肆

金刺氏發兌

ム及び文法を講じ、第四卷ハ更にシンセシスをも論じたる
一 シング及びアナライシスの初歩を述べ、第三卷ハイデオ
恰好の著述にして、第一卷ハ品詞の種類を説き、第二卷ハバ
育の教科用書として編述せられ、他邦人が英文法を學ぶに
科書となすに至りぬ、抑同氏の文典ハ、印度に於ける中學教
しも、チスフィールド氏の文典出でよより、語學界ハ採りて教
多クスウイントン氏又ハシーモール氏の著書を用ゐたり
脈を分明ならしむること難し。從來初學者の英文法を學ぶ
業にあらず、深く語格文法に熟達するにあらざれば、意義文
英語を理會し、且之を活用し得るに至ること、決して容易の
外國語研究の必要ハ日を逐ひて加へると雖も、能く普通の
序

とより淺からずと雖も、此の如き良書にして未だ全体を譯の好著、淺薄の識を以て譯述し之を瓦礫となす、著者の罪も授者が親しく諸生に説くと異ならざるによる、原書は金石に談話の躰を備へずと雖も、其譯述の方法に到ては、猶ほ教双つながら之を與へ、尙ほ外に種々の解明を下せること、文のは之を擴充し、畧せるものは之を補足し、練習は解答譯解が之を草するや、原書本文の意を解し例文を譯し、簡なるものに之を鼓吹するの要ありし、本書題して講義と云ふ、蓋し著者適當のものなることは、既に語學社會の定評ありて、今更新ねずふいしるべし、氏英文典が、本邦人の英文法を學ぶに最も自序に代へて

肥前大村中學に於て 高山榮一誌

明治三十二年五月

と信ず、依て一言を題す。
みならず、初心獨學の輩を裨益し、語學普及の補助たるべし
失を問はず、中學教育に於て此原書を繙く者の利便たるの
を説明したる者にして、英文法を學ぶに邦語を以てする得
親切丁寧なテキスト、スフィード英文典第三の意義を講述し、用例
を講じて引例活用に通せやんば、何の効をかなさん。此書は
れども文法の教ふるに難く、學ぶに難く、徒に理論法則のみ
通の英語を理會し、且之を活用するを得るに至るべし。然
を以て、能く此等の法則に通曉し、用例を熟知すれば、以て普

目次

	頁
第十章 文ノ分解	
第三節 混文ノ分解(綴キ)	1
第十一章 同一ノ語ニシテ數種ノ品詞ニ用ユルモノ	25
第十二章 一般ノ誤謬ヲ正ス	
名詞ノ用法ニ於ケル一般ノ誤謬	30
形容詞	34
冠詞	39
代名詞	45
動詞	48
副詞	59
接續詞	61
第十三章 文章論	
第一節 語相互ノ關係	64
第二節 語ノ位置	
形容詞ト名詞	87
副詞	93
主言ト賓言	100
關係言ト先行言	104
前置詞ト賓言	104

芳樹生識

明治卅二年五月

す
 待ちて悉く之を訂正するに吝ならざるべし、依て一言を附
 れ、初版に伴へる編述上、印刷上の誤謬に到ては、再版の際を
 こする著者の微意は以て些か之を償ふに足らんか、もし夫
 述せるものなければ、刻下の需用に應じ、裨益する所あらん

第十章 文の分解

(第三節混文の分解ノ節)

III. Adverb-Clause (副詞節)

321. 副詞節ハ他節中ノ動詞形容詞若クハ副詞ノ或ルモノニ對シテ副詞ノ用ヲナスモノナリ

副詞節ハ同格ノ意義ニテ用キタル that ナル接續詞ヲ除クノ外カハ何ツレノ從位接續詞ヲ用キテモ之ヲ導クコトヲ得ベシ (§ 315 ヲ參照スベシ)

例ヘバ

主 節	副 詞 節	從位接續詞ノ示ス意義
He will succeed	because he works hard	原因ヲ示ス (彼は骨折リて働く故に成功せん)
He worked so hard,	that he was quite tired	結果ヲ示ス (彼は非常に骨折リて働きし爲に全く疲われし)
He took medicine,	that he might get well	目的ヲ示ス (彼は本復せん爲に藥用せし)
I will do this,	if I am allowed	條件ヲ示ス (余は爲すを許さるならば之を爲すべし)
He is honest,	although he is poor	對照ヲ示ス (彼は貧なりと雖も正直なり)

He likes you *more than* (he likesヲ略ス) me 比較ヲ示ス
(彼は余を好くよりも汝を好くこと甚だし)

Men will reap as they sow 範或ハ仕ガヲ示ス
(人は播種に應じて収獲せん)

The sun will rise, *so long as* the world lasts 時ヲ示ス
(世界の永續する間太陽は昇るべし)

322. *though, when, unless, till, if, whether—or, 及ビ while* ナル接續詞ノ次ニハ *to be* ナル叙言動詞ヲ省略スルコト屢々アリトス 例ヘバ

Though much alarmed at the news, he did not lose all hope.
(彼は此の知らせの爲に甚しく愕き去と雖も一切の望を絶つことなかりし)

Though *he was* much alarmed at the news, he did not lose all hope. = 同シ

He sprained his foot, while walking in the dark.
(彼は暗闇を歩むうち彼れの足を筋違へせし)

He sprained his foot, while *he was* walking in the dark = 同シ

His opinion, whether right or wrong, does not concern me. (彼れの意見は正邪に拘はらむ余に關する所なし)

His opinion, whether *it is* right or wrong, does not concern me. = 同シ

This must be kept, till called for. (是は求めらるまで保ち置かざる可からず)

This must be kept, till *it is* called for. = 同シ

323. *than* ヲ用キテ副詞節ヲ導ク時ハ叙言動詞ヲ省キ現

ハサドルヲ常トシ却テ之ヲ省略シ得ル即チ副詞節ガ從屬スル節ヨリ假リ用ユルヲ得ベシ 例ヘバ

He loves you better than (he lovesヲ略ス) me.
(彼は余を愛するよりも汝を愛すること甚し) ㊦

He loves you better than I (love youヲ略ス).
(彼は汝を愛すること余が汝を愛するよりも甚し)

324. *who* 若クハ *which* ナル關係詞ヲ原因若クハ目的ノ意義ヲ示ス從位接續詞ニ代用スル時ハ其ノ導ク所ノ節ハ副詞節トナル 例ヘバ (§ 163 ノ備考ヲ参照スベシ)

原因ヲ示ス They should pardon my son, *who* (because he = 同シ*) has never committed such a fault before.
(余の息子は以前に一度も斯の如き過失を犯したることなき故に彼等は余の息子を許すべきなり)*

目的ヲ示ス A man was sent, *who* should deliver (*that he* might deliver = 同シ*) the message.
(或る人が此の消息を傳へん爲に送られし)*

備考 學ブ人ハ茲ニ於テ *who* 若クハ *which* ナル關係詞ヲ用キテ四種ノ節ヲ導キ得ベキコトヲ心附クニ到ラン四種ノ節トハ即チ次ノ如シ

(1) 同位節. 此ノ節ニ於テハ關係詞ハ之ヲ連續的ノ意義ニテ用ユ § 163 及 § 308 ヲ参照スベシ 此ノ場合ハ常ニ複文ノ時ナリトス

(2) 名詞節. 此ノ節ニ於テハ關係詞ノ先行言ハ常ニ書現ハシアラザルナリ § 315 ヲ参照スベシ 此ノ場合ハ常ニ混文ノ時ナリトス

* *who* は *because* なる原因の意義を示す從位接續詞に代用せるなり
who は *that* なる目的の意義を示す從位接續詞に代用せるなり

(3) 形容詞節. 此ノ節ニ於テハ關係詞ハ之ヲ制限的ノ意義ニテ用ユ §163 及 §319 ヲ参照スベシ 此ノ場合ハ常ニ混文ノ時ナリトス

(4) 副詞節. 此ノ節ニ於テハ關係詞ハ之ヲ原因若クハ目的ノ意義ニテ用ユ 此ノ場合ハ常ニ混文ノ時ナリトス

138頁練習の譯解并に解答

次の諸文に於て副詞節(一節又は數節)を抽出すべし 各副詞節の形容せる語若くは句を指示し且つ副詞節の示す副詞的關係を告ぐべし

- (1) 彼は骨折りて働きし故に成功せん
because he has worked hard ハ副詞節ニシテ原因 (cause) 或ハ理由 (reason) ヲ記述シテ will succeed ナル動詞ヲ形容ス
- (2) 人は生活費を儲けん爲に何づれかの仕事に従事す
that they might earn a living ハ副詞節ニシテ目的ヲ記述シテ engage ナル動詞ヲ形容ス
- (3) 彼(甲)は彼(乙)が白狀せずんば彼(乙)を打擲せんと脅迫せし
unless he confessed ハ副詞節ニシテ條件ヲ記述シテ threatened ナル動詞ヲ形容ス
- (4) 彼は貧なりしと雖も常に正直なりし
though he was poor ハ副詞節ニシテ對照若クハ讓歩ヲ記述シテ honest ナル完成言ヲ形容ス
- (5) 余の明言し得る所にては是は眞ならず
so far as I can tell ハ副詞節ニシテ範圍ヲ記述シテ

- true ナル完成言形容詞ヲ形容ス
- (6) 彼は余が汝を好けるほど汝を好けるなり
as much as I do ハ副詞節ニシテ範圍ヲ記述シテ likes ナル動詞ヲ形容ス
 - (7) 彼が成功せしに到りしまで久しき間勉めし
before he succeeded ハ副詞節ニシテ時ヲ記述シテ tried ナル動詞ヲ形容ス
 - (8) 今や時は遅ければ我等は行きて寢床に就らん
as it is now late ハ副詞節ニシテ理由ヲ記述シテ go ナル動詞ヲ形容ス
 - (9) 彼は躓き倒ることならんために注意を加へて歩みし
lest he should stumble ハ副詞節ニシテ目的ヲ記述シテ with care ナル句ヲ形容ス
 - (10) 汝若し署名せば余は是に同意すべし
provided you sign your name ハ副詞節ニシテ條件ヲ記述シテ agree ナル動詞ヲ形容ス
 - (11) 譬ひ彼は余を罰すとも余は彼に信を置くべし
though he punish me ハ副詞節ニシテ反照ヲ記述シテ will trust ナル動詞ヲ形容ス
 - (12) 彼は仕事を終りて家に歸來りし
after he had finished the work ハ副詞節ニシテ時ヲ記述シテ returned ナル動詞ヲ形容ス
 - (13) 偽友ならざることを見極むるまで友を信する勿れ
before you trust him ハ副詞節ニシテ時ヲ記述シテ prove ナル動詞ヲ形容ス
 - (14) 猫の在らざる程に鼠は戯れん (鬼の來ぬ間に洗濯ト同意ナリ)
when the cat's (=cat is) away ハ副詞節ニシテ時ヲ

- 記述シテ will play ナル動詞ヲ形容ス
- (15) 彼は一方ならず堅く耐忍せし故に遂に成功せし
that he succeeded at last ハ副詞節ニシテ結果ヲ記述
シテ so steadily ナル副詞句ヲ形容ス
- (16) 此の人は既に充分罰せられたる故に余は此の人を許
すべし
who (=because he) has been well punished already ハ
副詞節ニシテ原因ヲ記述シテ let off ナル動詞ヲ形容
ス (§ 324 ヲ参照スベシ)
- (17) 彼は六十歳の年齢としては物を見ることを能くす
considering that he is sixty years of age ハ副詞節ニ
シテ對照ヲ記述シテ very well ナル副詞句ヲ形容ス
- (18) 彼が次學年には一層骨折りて學業を勉めん爲に余は
彼に賞を與へし
that he might work harder next year ハ副詞節ニシ
テ目的ヲ記述シテ gave ナル動詞ヲ形容ス
- (19) 彼等は以前の仲間が貧苦不幸となりし爲に之を見捨
てし
who had become poor and unfortunate ハ副詞節ニシ
テ原因ヲ記述シテ deserted ナル動詞ヲ形容ス
- (20) 樹木は倒れ方に従ふて其地上の位置定まらん
as the tree falls ハ副詞節ニシテ仕方ヲ記述シテ will
lie ナル動詞ヲ形容ス
- (21) 我等が家を出でしより今に到るまで降雨歇むことな
りし
ever since we left the house ハ副詞節ニシテ時ヲ記
述シテ has ceased ナル動詞ヲ形容ス
- (22) 若し余にして其丈の金を懐中に有し居りしならば余
は喜んで之を汝に貸せしなり

- if I had as much in my own pocket ハ副詞節ニシテ
條件ヲ記述シテ glad ナル完成言形容詞ヲ形容ス
- (23) 殺人の所爲は舌を有せず(即ち口なし)と雖も自白せ
ん (it ハ murder ノ代名詞)
though it have no tongue ハ副詞節ニシテ對照ヲ記述
シテ will speak ナル動詞ヲ形容ス
- (24) 汝直ちに此の家を立去らずんば余は巡査を呼迎ふべ
し
unless you leave the house at once ハ副詞節ニシテ條
件ヲ記述シテ will send ナル動詞ヲ形容ス
- (25) 豺は町の外廓の邊に食をあさり居りし時に藍池の中
に滑り落ちし而して這ひ上こと能はざりしをば死
せるものと見違へられん爲に其處に横臥せし
while (it was ヲ略セリ) prowling about the suburbs
of a town ハ副詞節ニシテ時ヲ記述シテ slipped ナル
動詞ヲ形容ス
- so that he might be taken for dead ハ副詞節ニシテ
目的ヲ記述シテ laid himself down ナル動詞ヲ形容ス
- (26) 藍池の持主は死豺らしきものを見請くるや其の死骸
を籠に持行きて之を投込みし
when he beheld ハ副詞節ニシテ時ヲ記述シテ carried
ナル動詞ヲ形容ス
- (27) 若し嚴密に調べなば此の一事實は以て此の人に罪あ
る事を証明すなり
if (it is ヲ略セリ) closely examined ハ副詞節ニシテ
條件ヲ記述シテ proves ナル動詞ヲ形容ス
- (28) 彼は貧なりと雖も正直者なり且つ老年にして寧ろ老
衰せりと雖も出精なり
though (he is ヲ略セリ) poor ハ副詞節ニシテ對照ヲ

記述シテ honest ナル形容詞ヲ形容ス
though (he is ヲ略セリ) old and rather infirm ハ副詞
節ニシテ對照ヲ記述シテ industrious ナル形容詞ヲ
形容ス

- (29) 天國にて仕へんよりは地獄にて主宰せんに若らず
(寧ろ鷄首となるも牛後となる勿れト同意)

than (to ヲ略セリ) serve in heaven (is good ヲ略セリ)
ハ副詞節ニシテ比較ヲ記述シテ better ナル完成言形
容詞ヲ形容ス

- (30) 樹木の幹は其の未だ穉くして撓み易き裡に直然生長
するの手當を爲さずんば後ち老いて硬固となれる時
は之を撓めて真直となすを得ず

if the trunk of a tree is not made to grow straight ハ
副詞節ニシテ條件ヲ記述シテ cannot be straightened
ナル動詞ヲ形容ス

when (it is ヲ略セリ) young and pliable ハ副詞節ニ
シテ時ヲ記述シテ is not made ナル動詞ヲ形容ス

when (it is ヲ略セリ) old and stiff ハ副詞節ニシテ
時ヲ記述シテ cannot be straightened ナル動詞ヲ形
容ス

- (31) 家兎は野兎の如く疾走する能はずと雖も地を掘りて
地下に穴を穿つことは野兎よりも巧みなり

so swiftly as a hare (can run ヲ略セリ) ハ副詞節ニ
シテ家兎ト野兎ノ歩ミ方ヲ比較シテ cannot run ナ
ル動詞ヲ形容ス

than a hare (is skillful ヲ略セリ) ハ副詞節ニシテ比
較ヲ記述シテ more skillful ナル句ヲ形容ス

- (32) 野育ちの灰色兎は兎箱の中に入れ養はるゝ人馴れた
る兎の如く大ならず

as the tame rabbit kept in a cage (is large ヲ略セリ)
ハ副詞節ニシテ比較ヲ記述シテ so large ナル句ヲ
形容ス

混交文分解の例

(分解表は十頁にあり)

列席なし居りし町の司は聲高らかに叫出し猛烈なる獸が
斯く俄かに其の本性を忘れ果て無害なる動物と變じ其の獲
物を喰はんとするよりも之が命を助けんとせしに到りし次
第を説明すべき事をアンヅロークルスに命せし

百四十頁分解雜題の譯解

1. 悪人の勧め言に従ふて進まず又た神に對する罪人の道
に立たず又た蔑みすべき者の席に坐せざる人は天恵を
享けん (四節)
2. 余が水中に落ち沈みし時に感じたる心中の混亂は何に
によつても記述する能はざる所なり (三節)
3. 或夜手には提燈を携へ肩に獲を載せたる盲人歩み居り
し時思慮なき若者に出會へり若者は盲人を嘲笑して曰
く「嗚呼馬鹿者なるかな汝には晝も夜も異なることな
き筈なり。此の燈器は汝の爲に果して何の用に立つや」
(何すれぞ用に立つことあらんやの意) (六節)
4. 若し人間にして猿又は羊の如く毛髮又は羊毛一面に生
へたる皮を賦與せられ居たりしならば甲の氣候の地よ
り乙の氣候の地へ心地よく移動する能はざりしなり。
此の故に人間は裸身に造られ然かも其の存在する所に
應じて自らの状態を改良するの力を賦與されあるな
り (七節)

疑世符あれども疑問の意にあらざり即ち「燈器は何すれぞ汝の
爲に用に立つ所あらんや」ノ意

節	節ノ種類	連結詞	I. 主句	II. 副句的 添加言 (主言ノ)		III. 叙 言		IV. 副句的 添加言 (叙詞ノ)
				定動詞	形容ノ語 ヲ有セザル 完成言	形容ノ語 ヲ有セザル 完成言	形容ノ語 ヲ有セザル 完成言	
A. The governor of the town cried out with a loud voice.	主 節	...	the governor	of the town	cried out	nil	nil	with a loud voice,
B. Who was present,	A節 = 同位節 (§308 = 従 節)	who	who	nil	was	nil	present,	nil
C. And ordered Androcles to explain	A節 = 同位節	and	(the governor)	nil	ordered	Androcles	to explain	nil
D. How a savage beast could have so forgotten its innate disposition all of a sudden,	C節(即チ explain) = 名詞節	how	a beast	savage	could have forgotten	its innate disposition	nil	(a) so (b) all of a sudden,
E. That it became converted into a harmless animal,	D節 = 副詞節	that	it	nil	became	nil	converted into a harmless animal,	nil
F. Which preferred rather to spare its victim	情(即チ animal) = 形容詞節	which	which	nil	preferred	to spare its victim	nil	rather
G. Than devour him.	E節 = 副詞節	than	(it)	nil	(preferred)	(preferred)	nil	nil

5. 汝若し智あらずは馭者が悍馬を制止する如く汝の情慾を抑制すべし而して情慾一度の思ひの儘に逸せば汝をして共に遠く走らしめん (五節)
6. 汝は時として河流を翻りて一定の源泉を極むを得と雖も汝は直ちに此の如き源泉は岩石又は土壤を流れ通り既に存在せるか又は自から遺れる孔を通りて再び日光射す所に(即ち地面に)現はれ來りたる雨に依て涵養さるゝ事を自ら確かめん (七節)
7. 汝若し鉄棒の一端を火中に入れ之を其儘に保ち居らば之に依て甞に火中の一端を熱するに止まらざるべし何となれば汝は之に依て鉄棒全体を熱し汝が把持し居れる一端に到るまでも熱し來らしむ故に (五節)
(thanノ前置詞的用法ニツキテハ§284ノbヲ参照スベシ)
8. ルイ・カーナロは齡七十歳の時墜落なして其の腕と一脚を折りし (二節)
此の如き高齢の人に對しては此の如き大傷は人によりては治癒し難く或は爲に死に到らしむことさへもありしならん。然れどもカーナロに於ては彼が身体尤も健全なりし故に僅るの時日にて其の傷癒へしなり* (四節)
9. 法律を遵守する所の者は賢良なりなる子なり。反之擾亂をなす人に與みする者は其父を耻かしむ (四節)

1. even as は「恰も……の如く」
will hurry thee away 汝をして汝の本心を忘れ情慾に驅られ如何ふるまふに至らしめん
2. whose body の whose は原因を示す關係詞なり即ち because his に同じ
some men at that time of life 生活の此の如き時期の(即ち此の如き高齢の)或る人

10. 人々は王が此の事を好講識と見做すか然らずは罰を以て此無禮なるダーウエシユを脅かすべしと豫期せし。然るに人々の驚きし事には王は喜ぶ所も又た怒る所もなく却てダーウエシユの言ふ所にひたすら耳を傾けし (六節)
11. アイザーク・ニュートン公は深く思を凝らしたる后ち宇宙には世界を構成せる物質の各分子をして其の容積と距離に比例する力を以て他の分子を引き寄せしむる一の法則存在せし事を発見せし* (五節)
12. 彼の學業を終りたる後ち父は彼をして自身の如く商人たらしめんと欲して種々なる種類の商貨を搭載したる一船を彼に與へ彼が出で、世界を商ひ廻り今や高齡なる兩親の助けたらしめんとせし (七節)
13. 此等の纖維の末端にある細根は地中に刺さゝり其の能く地中に固着するに至れば此れ迄下方に向つて流れつゝありし所の汁液は其の方向を變じ上方に向つて流るに到る (五節)
14. 人間を指導する燈火となり誤に入りつゝある者を制止し譴責し、虚誇なる畏怖が人間を服する時には勝利且つ法律にして、虚誇なる誘引より人間を自由になし人間なる脆弱なる者に多き争を静むる者なる神の聲なる峻嚴なる娘なる汝義務よ。汝にして峻嚴なる娘の名を好まぬか然る時に於ては汝の眼の注視を乞はず、宥恕なる者なき所に愛と眞理より血氣の快よき考に倚頼する者多く生せん (十二節)

* by virtue of which 直譯せば「其の法則の爲に」なれども茲には文意を明かふらしむる爲に「しむる」と譯す

百四十頁分難題の解答表

節	節ノ種類	連結音	I. 主音	II. 性的附加音 (主音ノ)		III. 叙音			IV. 的附加音 (叙音ノ)
				定動詞	形容ノ語ヲ有スル	形容ノ語ヲ有スル	形容ノ語ヲ有スル	形容ノ語ヲ有スル	
A. Blessed man	主節	...	the man	nil	nil	is	nil	blessed	nil
B. That walketh not in the counsel of the wicked,	A 節(即チ man) = 形容詞節 B 節 = 同位節	that	that	nil	nil	walketh not	nil	nil	in the counsel of the wicked
C. Nor standeth in the way of sinners,	B 節 = 同位節	nor	(that)	nil	nil	standeth	nil	nil	in the way of sinners,
D. Nor sitteth in the seat of the scornful,	B 節及 C 節 = 同位節	nor	(that)	nil	nil	sitteth	nil	nil	in the seat of the scornful.
A. Nothing can describe the confusion of thought	主節	...	nothing	nil	nil	can describe	de- the confusion of thought	nil	nil
B. Which I felt	A 節(即チ thought) = 形容詞節 B 節 = 同位節	which	I	nil	nil	felt	which	nil	C 節 into the water.
C. When I sank into the water.	B 節(即チ felt) = 副詞節	when	I	nil	nil	sank	nil	nil	

1

2

節	節ノ種類	連結言	I.主言	II.副性的 添加言 (主言ノ)	III.叙言			IV.副詞的 添加言 (叙言ノ)
					定動詞	形容ノ語 ヲ有スル 言	形容ノ語 ヲ有スル 完成言	
A. A blind man, carrying a lantern in his hand and a pitcher on his shoulder, was walking along one night,	主 節	...	a man	blind, carrying a lantern in his hand and a pitcher on his shoulder	was walking	nil	nil	(a) along (b) one night,
B. When he was met by a thoughtless young fellow,	A 節 = 同位 節 (§308 依 y)	when	he	nil	was met	nil	nil	by a thoughtless young fellow,
C. Who laughed at him	B 節 = 同位 節 (§318 依 y)	who	who	nil	laughed at	him,	nil	nil
D. And (who) said	C 節 = 同位 節	and	and	nil	said	E 節	nil	nil
E. O fool! day and night must be alike to you;	D 節 = 名詞 節 (§318 依 y)	nil	nil	nil	must be	nil	alike to you, fool!	nil
F. Of what use can this lamp be to you?	E 節 = 同位 節	nil	nil	this	can be	nil	of what use to you?	nil

A. If man had had a skin thickly covered with hair or wool,	D 節(即チ could not have moved) = 副詞節	if	man	nil	had had	a skin thickly covered with hair or wool,	nil	B 節
B. As an ape has a skin thickly covered with hair or wool,	A 節(即チ had had) = 副詞節	as	an ape	nil	has	(a skin thickly covered with hair or wool),	nil	nil
C. Or a sheep (has a skin thickly covered with hair or wool),	B 節 = 同位 節	or	a sheep	nil	(has)	(a skin thickly covered with hair or wool),	nil	nil
D. He could not have moved from one climate to another with comfort;	主 節	...	he	nil	could not have moved	nil	nil	(a) from one climate to another (b) with comfort;
E. And so he is made naked,	D 節 = 同位 節	and so	he	nil	is made	nil	naked	nil
F. But (he is) not (made) without the power of improving his condition,	E 節 = 同位 節	but	(he)	nil	(is) not made	nil	without the power of improving his condition,	nil
G. Wherever he may be,	F 節(即チ improving) = 副詞節	wherever	he	nil	may be.	nil	nil	wherever

節	節ノ種類	連結言	I.主言	II.關係的 添加言 (主言ノ)	III.敘言			IV.副詞的 添加言 (動詞ノ)
					定動詞	形容ノ語 ヲ有スル 言	形容ノ語 ヲ有スル 完成言	
A. Even as the driver checks a restive steed,	B 節(即チ restrain) = 副詞節	even as	the driver	nil	checks	a restive steed,	nil	nil
B. So do thou restrain thy passion,	主節	...	thou	nil	do	restrain thy passion,	nil	so
C. If thou art wise	B 節(即チ restrain) = 副詞節	if	thou	nil	art	nil	wise,	nil
D. Which will hurry thee away	B 節 = 同位節	which	which	nil	will hurry	thee	nil	away
E. If it runs wild.	D 節(即チ will hurry) = 副詞節	if	it	nil	run;	nil	wild.	nil
A. Sometimes you may trace a river to a definite spring;	主節	...	you	nil	may trace	a river	nil	(a) sometimes (b) to a definite spring;
B. But you very soon assure yourself	A 節 = 同位節	but	you	nil	assure	yourself	nil	very soon

C. That such springs are fed by rain,	B 節 = 名詞節 (即チ as-areノ賛言)	that	springs	such	are fed	nil	nil	by rain,
D. Which has percolated through the rocks or soil,	C 節(即チ rain) = 形容詞節	which	which	nil	percolated	nil	nil	through the rocks or soil,
E. And which comes to the light of day through some orifice	D 節 = 同位節	and which	which	nil	comes	nil	nil	(a) to the light of day (b) through some orifice
F. That it has found	E 節(即チ orifice) = 形容詞節	that	it	nil	has found	that	nil	nil
G. Or (that if has) formed.	F 節 = 同位節	or	(it)	nil	(has) formed	(that)	nil	nil
A. If you put the end of an iron rod in the fire	C 節(即チ you do) = 副詞節	if	(you)	nil	put	the end of an iron rod	nil	in the fire
B. And (you) hold it there,	A 節 = 同位節	and	(you)	nil	hold	it	nil	there,
C. You do something more than heat that e.d;	主節	...	you	nil	do	something more than heat that e.d;	nil	nil

節	節ノ種類	連結言	I.主言	II.屬性言 添加言 (主言ノ)	III.叙言			IV.副詞添加言 (叙言ノ) 動詞ノ)
					定動詞	形容ノ語 ヲ有スル 言	形容ノ語 ヲ有スル 完成言	
D. For you heat the whole of it up to the end	C 節 = 同位節	for	you	nil	beat	the whole of it	up to the end	
E. That you hold in your hand.	D 節(即チend) = 形容詞節	that	you	nil	hold	that	in your hand.	
A. In his seventieth year Louis Carnaro had a fall	主節	...	Louis Carnaro	nil	had	a fall	in his seventieth year,	
B. By which he broke an arm and a leg.	A 節(即チfall) = 形容詞節	which	he	nil	broke	an arm and a leg.	by which	
A. With some men at that time of life so great a hurt would have been difficult to cure	主節	...	a hurt	so great	would have been	nil	with some men at that time of life,	
B. Or (it) might even have occasioned death.	A 節 = 同位節	or	(it)	nil	might have occasioned	death	even,	

C. But with Carnaro it was cured in a very short time,	A 節及B 節 = 同位節	but	it	nil	was cured	nil	(a) with Carnaro (b) in a very short time,
D. Whose body was in the soundest condition.	C 節 = 副詞節 (§ 324 備考 = 依リ)	whose	body	whose	was	in the soundest condition.	nil
A. Whoso keepeth the law	B 節 = 名詞節	whoso	whoso	nil	keepeth	the law	nil
B. Is a wise son;	主節	節	A 節	nil	is	nil	nil
C. But he shameth his father	B 節 = 同位節	but	he	nil	shameth	his father	nil
D. That is a companion of riotous men.	C 節(即チhe) = 形容詞節	that	that	nil	is	nil	nil
A. They expected	主節	...	they	nil	expected	B 節	nil
B. That the king would either treat the matter	A 節(即チexpected) = 名詞節	that	the king	nil	would treat	the matter	C 節
C. As (he would treat) a pleasant jest	B 節(即チtreat) = 副詞節	as	(he)	nil	(would treat)	a pleasant jest,	nil

節	節ノ種類	連結言	I.主言	II.屬性的 添加言 (主言ノ)		III.叙言			IV.副詞的 添加言 (叙言ノ)
				定動詞	形容ノ語 ヲ有スル 言	形容ノ語 ヲ有スル 言	形容ノ語 ヲ有スル 言	完成言	
D. Or (that he would) threaten the insolent darwesh with punishment;	B節=同位節	or	(he)	nil	would threaten	the insolent darwesh	with punishment;	nil	
E. But to their surprise he was neither amused nor angry.	A節=同位節	but	he	nil	was	nil	neither amused nor angry,	to their surprise,	
F. But (he was) seriously attentive to the words of the darwesh.	E節=同位節	but	(he)	nil	(was)	nil	seriously attentive to the words of the darwesh.	nil	
A. Sir Isaac Newton after deep meditation, discovered	主節	...	Sir Isaac Newton	nil	discovered	B節	nil	after deep meditation	
B. That there was a law in nature called attraction,	A節(即チ discovered) = 名詞節	that	a law	(a) in nature (b) called attraction,	was	nil	nil	nil	
C. By virtue of which every particle of matter draws toward itself every other particle of matter with a force	B節(即チ law) = 形容詞節	which	particle	(a) very (b) of matter	draws	every other particle of matter	nil	(a) by virtue of which (b) toward itself (c) with a force	

D. That the world is composed of	C節(即チ particle) = 形容詞節	that	the world	nil	is	nil	composed of that	nil
E. Which is proportionate to its mass and distance.	C節(即チ force) = 形容詞節	which	which	nil	is	nil	proportionate of its mass and distance.	nil
A. After his schooling was finished,	B節(即チ gave) = 副詞節	after	schooling	his	was finished,	nil	nil	nil
B. His father, desiring him to be a merchant like himself gave him a ship freighted with all sorts of merchandise.	主節	...	father	(a) his (b) desiring him to be a merchant like himself,	gave	(a) him (b) a ship freighted with all sorts of merchandise,	nil	nil
C. So that he might go	B節(即チ gave) = 副詞節	so that	he	nil	might go	nil	nil	nil
D. And (he might) trade about the world	C節=同位節	and	(he)	nil	(might) trade	nil	nil	about the world
E. And (he might) grow rich,	C節及D節 = 同位節	and	(he)	nil	(might) grow	nil	rich,	nil
F. And (he might) become a help to his parents,	C節D節及E節 = 同位節	and	(he)	nil	(might) become	nil	a help to his parents,	nil

節	節ノ種類	連結音	I. 主音	II. 副成音 (主音ノ)	III. 叙音			IV. 副詞的添 (叙音ノ)
					定動詞	形容ノ語 (ナ有スル音)	形容ノ語 (サ有スル音)	
3. Who were now advanced in age.	F 節(即チ parents) = 同位節	who	who	nil	were	nil	advanced in age	now.
A. The rootlets at the ends of these fibres strike into the ground,	主 節	...	the rootlets	at the ends of these fibres	strike	nil	nil	into the ground,
B. And the sap changes its direction,	A 節 = 同位節	and	the sap	nil	changes	its direction,	nil	C 節
C. When they have become well fixed in the earth,	B 節(即チ changes) = 副詞節	when	they	nil	have become	nil	well fixed in the earth,	nil
D. Which previously was flowing downwards,	B 節(即チ sap) = 形容詞節	which	which	nil	was flowing	nil	nil	(a) downwards (b) previously,
E. And (it) flows upwards.	B 節 = 同位節	and	(it)	nil	flows	nil	nil	upwards.
A. Stern daughter of the voice of god, O Duty, if that name thou love,	H 節 = 副詞節	if	thou	O Duty, stern daughter of the voice of god,	love	that name,	nil	nil

B. Who art a light to guide (men),	A 節(即チ thou) = 形容詞節	who	who	nil	art	nil	a light to guide (men),	nil
C. (Who art) a rod to check and reprove the erring,	A 節 = 形容詞節(即チ B 節 = 同位節)	(who)	(who)	nil	(art)	nil	a rod to check and reprove the erring,	nil
D. Who art victory and law,	A 節 = 形容詞節(即チ B 節 = 同位節)	who	who	nil	art	nil	victory and law,	nil
E. When empty terrors overawe (men),	D 節 = 副詞節	when	terrors	empty	overawe	(men),	nil	nil
F. (Who) dost set (men) free from vain temptations	A 節 = 形容詞節(即チ B 節 = 同位節)	(who)	(who)	nil	dost set	(men)	free from vain temptations	nil
G. And (who) calmest the weary strife of frail humanity!	F 節 = 同位節	and	(who)	nil	calmest	the weary strife of frail humanity!	nil	nil
H. Are	主 節	...	I 節	nil	are	nil	nil	nil
I. Who ask not	H 節 = 名詞節	nil	who	nil	ask not	J 節	nil	nil
J. If thine eye be on them,	I 節 = 名詞節	if	eye	thine	be	nil	on them,	nil

節	節ノ種類	連絡言	I. 主言	II. 副加音 (主言ノ)		III. 叙言			IV. 副加音 (叙言ノ)
				定動詞	形容ノ語ヲ有スル言	形容ノ語ヲ有スル言	形容ノ語ヲ有スル言	形容ノ語ヲ有スル言	
K. Who in love and truth rely upon the genial sense of youth,	H 節 = 名詞節 (即チ I 節ト同位節)	who	who	nil	rely upon	the general sense of youth,	nil	in love and truth,	
L. Where no misgiving is.	K 節 = 副詞節	where	misgiving	no	is.	nil	nil	nil	

注意 上表中括弧の中に「イタツク」にて現はしたるは略した語を補へるなり又た…は然存在す可からざる事を示し nil は存在する協合と存在せざる協合あるものにて其の場合には存在せざることを示すなり
 第十一問題の初行の there 及び第十四問題の九行目の there は共に導副詞 (§29) 或は §416 (a) を参照すべしにして無意味なり依て分解の中に加へず

第十一章

The Same Word used as Different Parts of Speech.

同一の語にして數種の品詞に用ゆるもの

- A. 不定冠詞 (獲者は虎を射留めし)
前置詞 (彼は獣獵に行きたり)
- All. 量ノ形容詞 (彼は全量の麵包を食せし)
不定數形容詞 (我々は總て何時の日にか死せざる可からず)
名詞ニ用キタル形容詞 (我等は其の日に我々一切の物を失ひし)
- Any. 副詞 (踏みつけられざる雪は凡て血汐の跡なく横はりし)
量ノ形容詞 (汝はいくらかの麵包を有せるや)
量ノ副詞 (我等は此上進行する前に止まつて休まざる可からず)
- 數ノ形容詞 (汝は幾塊かの麵包を持來りしか)
指示形容詞 (何づれにても汝の鞆に適ふ書を取るべし)
- As. (a) 關係代名詞:
(彼は見掛けの如き馬鹿者にあらず)
(來りし所の多くの人を悉く捕はれし)
(汝のは余のものと同じの書にあらず)
- (b) 關係副詞(或ハ從位接續詞):
時 (彼は話せし時に懐ひし as へ at what time 其の時にノ意ナリ)
仕方 (彼が爲せし如く行動する勿れ as へ in what manner 其の仕方にてノ意ナリ)

範圍 (彼れは汝の如く伶俐ならず 前ノ as へ that extent 其の範圍にまでノ意ニシテ後ノ as へ to what extent 如何なる範圍にまでノ意ナリ)
 (太陽に如何に熱つくとも我等は其の照れる中を出て行かざる可からず as へ whatever extent 如何なる範圍にまでノ意 hot as the sun is へ however hot the sun is = 同シ)
理由 (降雨ありたる故に今や大氣冷なり as へ for what reason 其の理由に依て又は…の事の理由に依てノ意)

(o) 略句中ニテ:—as へ 略句ニ於テハ 範圍ヲ意味ス (余は裁判官としては汝を罪すと雖も 一個人としては之を憐む as a judge へ to what extent I am a judge 余が裁判官たる其の範圍にて即チ so far as I am a judge 余が裁判官たる以上はノ意 as a man へ to what extent I am a man 余が一個人たる範圍にてはノ意) (余は其の事柄に關して再び汝に問ふべし as to へ to what extent the question relates to that matter 問題の其の事柄に關する範圍にてノ意) (我々は今ま此の旅行問題に關して何事をも決定する能はず)

Better. 比較形容詞 (余の書物は汝のものよりも勝れるものなり)
 比較副詞 (汝は今日以前よりも勝りて働き居れり)
 名詞ニ用非タル形容詞 (汝より上にある者を蔑しむ勿れ)
Both. 定數形容詞 (兩人共に人は到着したり)
 同位接續詞 (彼は愚漢にして且つ惡漢なり)
But. 副詞 (列席せるは唯一人なり but へ only ノ意)
 前置詞 (彼を除きては何人が之れを爲し得たりしや

but へ except ノ意)
 (余は汝が失せしと信ぜざるを得ず I cannot but believe that you are lost へ I cannot believe any thing except that you are lost. 汝が失せしとの外に如何にとも信ずる能はず即チ汝が失せし信ぜざるを得ず)

同位接續詞 (彼は常識を備へたる人なりと雖も學識ある人ならむ)*

從位接續詞 (列席せし者にして其の跛馬を憫れと思はざりしもの一人もなかりし 此ノ文ニ於テ but へ關係詞ト否定詞ノ効力ヲ有ス (but = who not § 162 參照スベシ))

Either. 分配形容詞 (彼れは二者何づれかの場合に於て零落せるなり)

同位接續詞 (彼は惡漢か惡美か何づれかなり)

Else. 副詞 (我等は其外か何人をも捕ふる能はざりし)

同位接續詞 (彼は何にか眞實の態を有す然らざるば斯程遠かざるなり)

Enough. 量ノ形容詞 (彼は充分なる量の麵包を食したり)

數ノ形容詞 (我等は充分なる個數の麵包塊を有す)

名詞ニ用非タル形容詞 (彼は充分の仕事の有せし)

Half. 量ノ形容詞 (中はよりなき方案は成功せず)

名詞ニ用非タル形容詞 (彼れの仕事の中は今や爲し終はられたり)

量ノ副詞 (彼は恐怖の爲に中は死せし)

Little. 性質ノ形容詞 (細小ノ打撃も甚大の苦痛を與へ得べきことあり)

量ノ形容詞 (彼は少量の麵包を食したり)

量ノ副詞 (我等をして此の處に暫時待たしめよ)

* not learned in books 書物に於ては即ち學識なし

	名詞 = 用キタル形容詞 (人間は現世界に僅少の缺乏を感ず)
More.	量ノ形容詞 (彼は汝よりも多量の麴を食す) 名詞 = 用キタル形容詞 (豫想されしよりは多く爲されたり) 量ノ副詞 (余は汝よりも彼を好むこと甚し) 數ノ形容詞 (今日は昨日よりも多數の人來りし) 數ノ副詞 (余は彼を再び見し)
Much.	量ノ形容詞 (彼は多くの時間を浪費したり) 量ノ副詞 (余は汝の息子を大に喜びし) 名詞 = 用キタル形容詞 (汝は余に得る所多からざるべし)
Neither.	分配形容詞 (余は何づれの側にも同意せず) 同位接續詞 (汝も余も其を爲す能はず)
Near.	副詞 (余が汝に向つて話す理は近く立つべし) 前置詞 (我等の家のはりに美しき一本の樹木あり) 形容詞 (彼は余の近親なり)
Needs.	動詞 (大地は甚しく乾燥なし居り雨を要す) 副詞 (彼は是非共此の事の理由を知らざる可からず § 266 を参照スベシ) 名詞 (我等の必要物即ち要求物は僅少なり)
One.	定數形容詞 (管だ一「ラビー」の残りあるのみ) 不定指示代名詞 (人は其の時を浪費し易し) 定指示代名詞 (汝の馬は白く余のものは黒馬なり)*
Only.	形容詞 (余の一匹よりふき犬は盗まれし) 副詞 (余は之を漸く昨日聞きし) 同位接續詞 (汝の氣に適ふ所を爲すべし然れども爲す所は何にても沈黙を守るべし)
Round.	形容詞 (方形の物は圓形の孔にはまらず) 前置詞 (與へられたる中心の周圍に圓を劃くべし) 副詞 (鱧はぐる々々さ飛び廻り居れり)

* one は horse の代名詞なり

	動詞 (ガマは喜望峰を廻航せし最初の人なりし)
	名詞 (人は日々に廻り來る其の務めを盡さる可からず)
Since.	前置詞 (余は前の月曜日以來彼を見かけず) 副詞 (余は四週間以前に此の家を借受けし) 從位接續詞 (汝は眞面目にて話し居る故に我等は汝を信ぜざる可からず)
Such.	定指示形容詞 (彼は余が豫期せし如き人にあらざり) 不定指示代名詞 (彼はいつか余の許に來りし) ¹ 定指示代名詞 (彼は驕奢者なり余は然らず) ²
That.	定指示形容詞 (余は其の書物の敬服者にあらず) 定指示代名詞 (太陽の光は月の光よりも輝々たり) 關係代名詞 (汝が余に與へし書物は失せたり) 接續詞 { 結果 (彼は能く狙ひし故に標的に當てし) { 同格 (彼は汝が來りたる事を聞きし) { 目的 (吾人は生活せん爲に食せざる可からず)
Then.	時ノ副詞 (彼は那の時今よりもよかりし) 同位接續詞 (然らば我等は直ちに満足せざる可からずと余は思ふ)
Than.	從位接續詞 (余は是よりも其を好くこと甚だし) 前置詞 { (余が之よりも出精なる者を見たることふ { き此等の職人は余の許を去りし) { (彼は葡萄酒を除きては何づれの飲料をも好みし)
The.	定冠詞 (驢馬は魯鈍なる動物なり) 量ノ關係副詞 (多きに從ひて盡々樂し) 量ノ單純副詞 (彼は成功の望ありし故に斯く骨折りて働きし)

1. such a day=some day or other § 105 を参照すべし

2. I am not such=I am not a coward

Too.	量ノ副詞	(彼は餘りに遊戯を好む)
	同位接續詞	(吾人も又た何つれの日か死すべきを預期し居りざる可からず)
What.	疑問代名詞	(汝は何事を言ひしや 其は何に家なるや)
	合成關係代名詞	(余は汝が意味する所を知らず)
	略副詞	(牛は病氣と損失の爲に此の憐むべき人は殆んど零落したり)
Yet.	同位接續詞	(余は呼ひたりと雖も何人も答へざりし)
	時ノ副詞	(尙ほ汝は彼を見出し得ん yet even now 今と雖も又は尙ほノ意)

第十二章

Common Errors Corrected.

一般の誤謬を正す

Common Errors in the Use of Nouns.

(名詞の用法に於ける一般の誤謬)

325. 人間、其他ノ動物若クハ擬人ノ事物ヲ示ス名詞ノ外カニハ持格ノ語尾ヲ用ユルコト稀ナリ(\$64ヲ参照スベシ)
(註 誤文欄ノ house 以下「イタリツク」ニテ現ハシアルハ人間、其他ノ動物若クハ擬人事物ニアラズシテ持格語尾ヲ附ス可カラザル名詞ナリ依テ之ヲ改メテ資格トセリ)

正文*

Climb up the roof of the house.

(家の屋根に上るべし)

* Errorneous は誤文の意 Corrected は正文の意

Calcutta is the seaport of Bengal.

(カルカッタはベンガルの港なり)

Let us pick the fruit of the garden.

(我等をして園の果實を採取せしめよ)

Beware of the shortness of life.

(豫め生命の短き事を知りおくべし)

Look at the signature to this letter.

(此の手紙の署名を覽よ)

I heard the shout of the multitude.

(余は群衆の叫聲を聞きし)

He is the shepherd of the flock.

(彼は此羊群の牧羊者なり)

Go out by the door of the house.

(家の戸口より出すべし)

326. 物質名詞ハ普通名詞ニ用ユル時ノ外カ複數ニ用ユルヲ得ズ(\$69 参照スベシ)(註 rice 以下「イタリツク」ノ名詞ハ何ツレモ物質名詞ニシテ複數ニ用ユルヲ得ズ依テ他ノ語ヲ補ヒテ之ヲ單數ニ改メタリ)

正文

He had a bag of rice.

(彼は米の入りたる袋を持ちし)

I picked up ten grains of rice.

(余は十粒の米を拾上げし)

There are many spots of dirt on the wall.

(壁上多くの泥の斑點存す)

He sent me many kinds of food.

(彼は余に多くの種類の食物を送りし)

We want more fuel than that.

(我等は其よりも多量の燃料を要す)

He drank *two cups of milk*, or he drank *milk twice*.

(彼は牛乳を二杯飲みし或は彼は二回牛乳を飲みし)

Ten *inkstands* are needed for the class.

(此の級の爲に十箇のインキ入れ入用なり)

The cow eats *grass* all day.

(牝牛は終日草を喰ふ)

The rain has left many *pools of water*.

(雨は多くの水溜りを後に残せし)

Many *nuggets* (lumps) of gold were found there.

(數多の金塊其の處に見出されし)

327. 抽象名詞ハ普通名詞ニ用ユル時ノ外カ複數トナラズ (§ 69 ヲ参照スベシ)

正文

He did many *acts* of mischief.

(彼は多くの悪行を爲せし)

He gave me many *pieces* of advice.

(彼は數多の忠言を余に與へし)

Leave off such *acts* of stupidity.

(斯の如き痴鈍の行爲を罷めよ)

He did many foolish *actions*.

(彼は數多の愚なる行爲を爲せし)

He learnt three *pieces* of poetry by heart.

(彼は三篇の詩を暗誦せし)¹

He was fond of bad *company* or bad *companions*.²

(彼は悪友を好みし)

1. to learn by heart (「暗誦」すの熟語)

2. bad company さもるも又は bad companions さするも何づれにてもよし

He has slept *twice* to-day.

(彼は今日二回睡眠をなしたり)

He gave me a great deal of *trouble*.

(彼は余に多くの面倒を與へし)

You have many *things* to choose from.

(汝は選擇すべき多くの物を有す)

He possesses many *kinds* of skill.

(彼は數多の種類の熟練を有す)

328. 形ハ單數ナリト雖モ意義ハ複數ナル名詞アリ (§ 77 ヲ参照スベシ) (註 cattle 以下「イタリツク」ノ名詞ハ形ハ單數ニシテ複數ノ意義ニ用ユル名詞ナリ故ニ之ヲ悉ク單數ノ形ニ改メタリ)

正文

These cattle are mine.

(此等の家畜は余のものなり)

This cow is mine.

(此の牝牛は余のものなり)

The vermin are swarming.

(害虫は群がり居れり)

The swine are lying down.

(豕は横はり居れり)

These people have gone.

(此等の人々は去りたり)

329. 全ク複數ヲ有セザルカ然ラザレバ特殊ノ意義ニ於テノミ複數ニ用ユル名詞アリ (§ 78 ヲ参照スベシ) (註 abuse 以下「イタリツク」ノ名詞ハ何ツレモ複數ヲ有セザル名詞ニシテ若シ之ヲ複數ニ用ユル時ハ他ノ特殊ノ意義トナル此ノ故ニ之ヲ單數ニ改メタリ)

正文

He gave me many *words of abuse*.
 (彼は余に多くの誹り言を與へし)
 Give me all the *items of information* that you have received.
 (汝が受けし報知の一切の項目を余に示すべし)
 This room has *ten pieces of furniture*.
 (此の室には十箇の家具備はり居れり)
 They had *three children*.
 (彼等は三人の子供を有せし)
 Have you learnt the *letters of the alphabet*?
 (汝は字母の文字を學びたりや)

330. 或ル特殊ノ量ヲ示ス爲ニ單數ヲ複數ニ代用スルコトアリ (§ 80 ヲ参照スベシ)

正文

He gave me a *ten-rupee note*.
 (彼は余に十「ラピー」額の手形を與へし)
 I shall bring a *three-foot rule*.
 (余は三尺規を持來らん)
 He had *forty head of cattle*.
 (彼は四十頭の家畜を有せし)
 This is an *eight-day clock*.
 (此は八日捲きの時計なり)
 I like a *six-year-old horse*.
 (余は六才の馬を好む)

Common Errors in the Use of Adjectives.
 (形容詞の用法に於ける一般の誤謬)

331. *Some, any*. 此ノ二形容詞ノ用法ノ異ナレル所ハ §93 ヲ参照スベシ

正文

He has procured *some bread*.
 (彼は若干量の麵包を得たり)
 He has *not procured any bread*.
 (彼は如何程の麵包をも得ざりし)
 He has procured *no bread*, or he has *not procured any bread*.
 (彼は麵包を得ざりし)
 Bring me *some water* to drink.
 (余に若干量の飲み水を持來れ)

332. *Little, a little, the little*. 此ノ三種ノ言辭ノ用法ノ異ナレル所ハ §94 ヲ参照スベシ

正文

A *little* money is better than none.
 (少額の金と雖もなきよりは勝れり)
 He was sorry to find that he had *little* money.
 (彼は己れに殆んど金のなかりしを見て悲しく思ひし)
 He spent *the little* money that he had.
 (彼は其の有せし多からざる金を悉く費やせし)
 I am glad I have *a little* time left.
 (余は尙ほ少しの時の残り居るを喜ばしく思ふ)

333. *Few, a few, the few*. 此ノ三種ノ言辭ノ用法ノ異ナレル所ハ §99 ヲ参照スベシ

正文

He was glad to have *a few* books.
 (彼は數冊の書を有して喜びし)

- I was sorry to have *few* rupees.
(余は多くの「ラビー」貨幣を有せざりし爲め悲しく思ひし)
He read *the few* books that he had.
(彼は蔵せし多からざる書籍を悉く讀みし)
I wish you would stay here *a few* days.
(汝が數日此處に滞留せん事を余は望む)
A few remarks from him will not be out of place.
(彼より送れる數條の注意は機に適するならん)

334. 集合數ノ名詞ノ次ニハ of ナル前置詞ヲ略ス (§104 及び §101 ヲ参照スベシ)

正文

- I have *a dozen* sheep.
(余は十二頭ノ羊を有す)
He lived almost *a hundred* years.
(彼は殆んど一百年生活せし)
A ship will not last *a thousand* years.
(船は一千年も持續せざるべし)
Few men have *a million* pounds.
(百萬磅の金を有する人は多からざ)

335. A, an. §104 ヲ参照スベシ

正文

- A clock is *a* useful thing.
(時計は有用なる品なり)
He is *a* European.
(彼は歐羅巴人なり)
He wrote *a* historical book.

・余は金子を多く有しおらざりし爲め悲しく思ひしの意

- (彼は歴史書を編述せし)
He is *a one-eyed* man.
(彼は片眼の人なり)

336. Each, every. 分配形容詞ノ用法ニツキテハ §110 ヲ参照スベシ

正文

- They surrounded him on *every side*.
(彼等は四方八方より彼を取圍みし)
Of the two men lying in hospital, *each* is recovering
(病院に臥せる二人は各回復に向ひ居れり)
The two men struck *each other*.
(二人は相ひ撃ちし)
They all helped *one another*.
(彼等は皆互に助けし)

337. 形容詞比較法ノ用法ノコトハ §135 ヲ参照スベシ

正文

- He is *taller* than you.
(彼は汝よりも背高し)
He is *taller than* you.
(同上)
He is *the taller* of the two.
(彼は兩人中ノ高き方ノ者なり)
This stick is *longer* than that.
(此の杖は那の杖よりも長し)
This boy is *more clever* than *all the other* boys.
(此の男兒は他の男兒の何つれよりも伶俐なり)
This book is *preferable* to that.

(此の書物は那の書物よりも好ましい)

This book is easier *than* that.

(此の書物は那の書物よりも読み易し)

338. 拉句語ノ比較級ノ次ニハ *than* ヲ用ヰズシテ *to* ヲ用ユ (§ 137 ヲ参照スベシ)

正文

His strength is superior *to* mine.

(彼が智力は余のよりも勝れり)

Your height is inferior *to* mine.

(汝の身長は余のよりも劣れり)

This man is senior *to* that.

(此の人は那の人よりも年長かり)

This event is prior *to* that.

(此の事件は那の事件よりも以前なり)

Your son is junior *to* mine.

(汝の息子は余の息子よりも年若し)

339. 形容詞ノ最上級 (§ 136 ヲ参照スベシ)

正文

This road is the *shortest* of all.

(此の道は一番の近道なり)

This road is shorter *than all the others*.

(此の道は他の何つれの道よりも近し)

Iron is the *most useful* of all metals.

(鉄は金属中尤も有用なるものなり)

That was the *unkindest* cut of all.

(其は最も不親切なる仕方なりし)

He gained the *first* prize.

(彼は一等賞を得し)

備考 最上級ノ前ニハ常ニ定冠詞ヲ用ヰザル可カラズ不定冠詞ヲ用ユ可カラズ

340. 最上級ヲ恰カモ原級ノ前ニ *very* ヲ置キタルモノト同様ニ用ユ可カラズ

正文

He wrote a *very good* book.

(彼は甚だよき書物を編述せし)

He is a *very bad* scholar.

(彼は甚だ悪しき學生なり)

This is a *very happy* world after all.

(つまり現世界は甚だ幸福なる世界なり)

You have a *very clear* style of writing.

(汝の書風は甚だ明瞭なる書風なり)

Common Errors in the Use of Articles.

(冠詞の用法に於ける一般の誤謬)

341. 通則トシテハ單數普通名詞ノ前ニ定冠詞カ或ハ不定冠詞カ何ツレカヲ置カザル可カラズ (§ 115 ヲ参照スベシ)

正文

I saw a *dog* (或ハ *the dog*) coming towards me.

(余は余の方に向つて来る所の犬を見し)

He shot a large *tiger* to-day.

(彼は今日大なる虎を射留めし)

He ordered *the servant* to leave *the room*.

(彼は召使の男に室を立去ることを命ぜし)

A *dead man* tells no tales.

(死人は話を語らぬ)*

A live ass is better than a dead lion.

(活きたる驢馬は死したる獅子に勝る)

India is a large peninsula.

(印度は大なる半島國なり)

342. 若シ普通名詞ヲ複數ニ用ユル時ハ其示セル事物ヲ特指スル時ノ外カ其ノ前ニ定冠詞ヲ置ク可カラズ (§116ヲ参照スベシ)

正文

Storks gobble up frogs.

(鴻は蛙を呑み込む)

Men are rational beings.

(人間は道理を具へたる動物なり)

We cannot easily live without houses.

(吾人は家屋なくして安易に生住す能はず)

Oil is produced from olives.

(橄欖より油造り出さる)

Language consists of words.

(國語は言語より成る)

All men are mortal.

(凡て人間は死すべきものなり)

343. 物質名詞ノ前ニハ定冠詞モ不定冠詞ヲモ置ク可カラズ (§117ヲ参照スベシ)

正文

You should use seasoned timber for making a door.

(汝は戸を造るに乾かれたる材木を用ゆべし)

*「死人に口なし」の意

Most men are fond of bread.

(大抵の人は麵包を好む)

Honey is made by bees.

(蜂蜜は蜜蜂の造る所なり)

You can stick this down with gum.

(汝は膠糊を用ひて此を固着し得る)

Charcoal throws out much heat.

(木炭は多くの熱を發出す)

Some men never eat flesh.

(肉類を食せざる人もあり)

344. 然レモ物質名詞モ單數ノ普通名詞ニ用ユル時ハ (§117ヲ参照スベシ) 其前ニ冠詞ヲ置カザル可カラズ

正文

I am fond of strolling in the wood.

(余は森中に遊歩するを好む)

A slate is used for writing on.

(石板は其上に物を書き記るすに用ふ)

Hand me a potato.

(余に馬鈴薯を渡せ)

A fire broke out in our village.

(火事は我が村に起りし)

Do not lose the precious stone.

(寶石を失ふ勿れ)

345. 抽象名詞ヲ純然一般ノ意義ニテ用ユル時ハ其ノ前ニ冠詞ヲ置カズ (§117ヲ参照スベシ)

正文

Envy is an evil passion.

(嫉みは悪情なり)

I am fond of *walking* in the fields.

(余は野原に散歩する事を好む)

He is not fond of *mathematics*.

(彼は数学を好まず)

He always practised *justice*.

(彼は常に公正を實行せし)

Speech is one of our best faculties.

(辨論は吾人最上能力の一なり)

346. 抽象名詞ノ示ス性質、状態若クハ動作ヲ特指スベキ必要アル時ニハ其ノ前ニ定冠詞ヲ置ク

正文

The envy of malicious persons is cruel.

(悪意ある人の嫉みは酷なり)

He is not fond of *the mathematics* taught in that book.

(彼は那の書中に説ける数学を好まず)

The justice of that man is well known.

(那の人の公正なることは能く知らる)

He understands *the grammar* taught in that book.

(彼は那の書中に説ける文法を理解す)

The sleep of a wearied man is sound.

(疲れたる人の睡眠は健かなり)

The height of a man is seldom more than six feet.

(人間の身長は六「フイート」以上を越ゆる事稀なり)

347. 抽象名詞ヲ單數ノ普通名詞ニ用ユル時ニハ其ノ前ニ定冠詞カ不定冠詞カ何ツレカヲ置カザル可カラズ

正文

He gave a very wise *judgment*.

(彼は甚だ知慧ある判断を下せし)

He made a very good *speech*.

(彼は甚だ立派なる演説をなせし)

You are not a *justice* of the High Court.

(汝は高等裁判所の裁判官にあらず)

My son, I fear, is not a *genius*.

(余の息子は天才にあらずるかを余は懸念す)

Your daughter is quite a *beauty*.

(汝の娘は全く美人なり)

Your conduct will be blamed by *the authorities*.

(汝の行爲は役人の爲に責めらるべし)

348. 固有名詞ヲ單數ノ普通名詞ニ用ユル時ニハ其ノ前ニ冠詞ヲ置カザル可カラズ (§ 117 ヲ参照スベシ)

正文

He was *the Kalidas* of his country.

(彼は彼の邦のカリダスなり)

The Czar of Russia rules a great empire.

(魯西亞の皇帝は大なる帝國を統治す)

He is a *Daniel* in wisdom.

(彼は知慧にては一箇のダニエルなり)

You are almost a *Newton* in your knowledge of astronomy.

(彼は天文学の知識に於ては一箇のニュートンなり)

* Kalidas は印度のホーマーとも謂はれし大詩人なり 此文にては大詩人の意にして之を普通名詞に用ゐたり

Daniel は猶太人の學識深き裁判官 Newton は有名なる天文学者なり 此文にては前者は凡ある人を意味し 後者は卓越したる天文学者の意にして共に普通名詞に用ゐたり

349. 固有名詞ガ河川, 群島, 連山, 海峽, 海灣, 海洋ノ名ヲ示ス時ハ其ノ前ニ定冠詞ヲ置ク (§ 120 ヲ参照スベシ)

正文

The Ganges has overflowed its bank.

(ゲンジス河は其の河岸を溢れ越へたり)

The Andamans are a group of islands.

(アンドマンズは群島なり)

*The Vindhya*s are a range of mountains.

(ヴィンドヤスは連山なり)

The Palk Straits separate India from Ceylon.

(パーク海峽は印度と錫倫島を分界す)

The Gulf of Cambay is on the west coast of India.

(カンベール灣は印度の西岸にあり)

The Bay of Bengal separates India from Burma.

(ベンガル灣は印度とビルマを分界す)

The Arabian Sea separates India from Africa.

(アラビア海は印度と亞弗利加を分界す)

The Indian Ocean separates Australia from Africa.

(印度洋は澳洲と亞弗利加を分界す)

350. 固有名詞ガ單獨ノ島若クハ單獨ノ山ノ名ヲ示ス時ニハ其ノ前ニ定冠詞ヲ置カズ (§ 120 ヲ参照スベシ)

正文

Mount Everest is the highest peak in the world.

(エヴァレスト山は世界第一の高峰なり)

Mount Abu is in Rajputana.

(アブ山はラヂウプナタにあり)

Ceylon is a beautiful island.

(錫倫は美しき島なり)

Scotland is in the northern part of *Great Britain*.
(蘇格蘭土は大不列顛國の北部にあり)

Common Errors in the Use of Pronouns.
(代名詞の用法に於ける一般の誤謬)

351. 持格代名詞ノ形ハ其ノ位置ト用法ニ從フテ定マル (§ 145 ヲ参照スベシ)

正文

I am *your* humble servant.

(余は汝の卑き僕なり)

That horse is *mine*.

(其の馬は余のものなり)

Bring *my* hat.

(余の帽子を持來れ)

His horse and *yours* are both tired.

(彼の馬と汝の馬は双方共に疲かれ居れり)

That horse of *yours* is tired.

(其れなる汝の馬は疲かれ居れり)

352. *one* ナル不定代名詞ハ *his* ニテ受ク可カラズ *one's* ニテ受クベシ (§ 155, b' ヲ参照スベシ)

正文

One should take care of *one's* health.

(人は須く自己の健康に注意すべし)

One must mind *one's* own business.

(人は自己の業務に注意せざる可からず)

A man should keep *his* own promise.

(人は須く自己の約束を守るべし)

353. 前置詞ト結合セル代名詞ニ持格ノ代名詞ヲ代用ス可カラズ

正文

I hope to receive a good report of you (或ハ about you 或ハ from you).

(余は汝に関する善き報告を受くを希望ス)

We shall be glad to get good news of you.

(我等は汝に関する善き知らせを得て喜ばん)

Separation from you distresses me.

(汝より別かるゝことは余を悲ましむ)

My respect for him is always in my thoughts.

(余が彼を尊敬することは常に余の念頭を離れず)

354. 一人稱ノ代名詞ヲ二人稱若クハ三人稱ノ代名詞ト併ベ用ユル時ニハ一人稱ノ代名詞ヲ最後ニ記ルスベシ

正文

James and I have come.

(ジェームスと余と来りたり)

This room is for him and me.

(此の室は彼と余の爲に用意せるなり)

That dog is both his and mine.

(那の犬は彼と余と二人のものなり)

Your horse and mine are both lame.

(汝の馬と余の馬は共に跛なり)

355. 人代名詞及ビ指示代名詞ハ他動詞ノ次ニ省略ス可カラズ

正文

The man is not here. Shall I call him?

(其の人は此處にあらざ 余は彼を呼ばんか)

I have a knife. Do you want it?

(余は小刀を有す 汝は之を要するや)

Bring me the book. I am bringing it.

(余に其の書物を持來れ 余は之を持來りつゝある)

As soon as I entered the room, he told me to sit down.

(余が室に入るや否や彼は坐に就くべきことを余に告げし)

356. 關係代名詞ノ中性ノ形ハ人間若クハ擬人ノ事物ヲ示スモノ、外ハ如何ナル名詞ノ次ニモ用ユルナリ (§ 157 ヲ参照スベシ)

正文

This is the bird which sings.

(是は歌ふ鳥なり)

Are you the man who came here yesterday?

(汝は昨日此處に來りし人なるや)

Look at that ape which is climbing up a tree.

(樹にかき上りつゝある那の猿を覽よ)

357. Such. such ノ後トノ關係代名詞ノ形ハ as トナス (§ 61 ヲ参照スベシ)

正文

This is not such a look as I expected it to be.

(是れ余が固ク豫想せし看にあらざ)

His behaviour was such as could not be pardoned.

(彼が振舞は許す能はざる所のものなりし)

358. Same. same ノ後トノ關係代名詞ノ形ハ as 若クハ that トスナ (§ 161 ヲ参照スベシ)

正文

This is the same mistake *that* you made before.

(是れ汝が前になせし過失と同一のものなり)

This is the same man *that* came here yesterday.

(是れ昨日此處に來りしと同人なり)

This is the same book *as* yours.

(是れ汝の書と同じ書なり)

Common Errors in the Use of Verbs.

(動詞の用法に於ける一般の誤謬)

359. **There.** 自動詞ノ主言ガ動詞ノ前ニアラズシテ後トニアル時ニハ動詞ノ前ニ *there* ナル導副詞ヲ置クヲ常トス (§ 29 ヲ参照スベシ)

正文

There were ten men in the boat.

(短艇の中には十人居りし)

There seems to be a very rough wind.

(非常なる荒き風あらん様子なり)

Outside the gate *there stands* a man.

(門外に一人の人立てり)

360. 其ノ次ニ來ル反照代名詞ヲ省略セシムル他動詞少カラズ此ノ場合ニ於テ他動詞ハ自動詞トナル (註 kept 以下ノ語ハ其ノ次ニ來ル反照代名詞ヲ省略セシムベキ他動詞ナル故ニ正文ニ於テハ悉ク之ヲ省略セリ)

正文

He *kept* inside the house.

(彼は家の中に籠り居りし)

Move over to this side.

(こちら側に移り越へよ)

He made off with the money.

(彼は金を隠して逃亡せし)

The monsoon has burst.

(モンスーン風は起りたり)

Let us bathe here.

(我等をして此處に浴せしめよ)

反照代名詞ヲ省略セバ誤リトナルコトアリ

正文

He availed himself of the offer.

(彼は此の申出につきて自ら利せし)

He resigned himself to his fate.

(彼は其の運命に自身を任せし)

He exerted himself to win a prize.

(彼は賞を得ん爲に自から骨折れし)

又々反照代名詞ヲ略スルモ略セザルモ何ツレモ可ナリ
ト雖モ之ヲ附シオクコト動詞ノ示ス動作ニ一層強キ意
義ヲ生セシムルナリ

普通ノ形²

He rested on the bed.

(彼は臥床の上に休みし)

I engaged in business.

(余は用務に携はりし)

The clouds have dispersed.

(雲は散り去りたり)

He prepared for the journey.

(彼は旅行の用意をなせし)

¹ 彼は此の申出を利用せしめし

² Emphatic form は強意義の形なり

The fog has spread over the field.
(霧野一面に擴がりたり)

361. Negative Sentences (否定文). 詩ヲ除ク外カnotハ
助動詞ト主動詞ノ間ニ置クヲ定則トス(\$204ヲ參照スベシ)

正文

He does not love his work.
(彼は自己の仕事を好まず)

He did not come back to his post.
(彼は彼れの位置に歸らざりし)

He is not coming here again.
(彼は此の處に再び來りつゝあらざり)

He will not recover his health.
(彼は健康に復せざらん)

We must not give up work.
(我等は仕事を中絶せざる可からむ)

362. Interrogative Sentences (疑問文). 詩ヲ外クノ
外カハ主言ハ助動詞ト主動詞ノ間ニ置クヲ定則トス

正文

Why did he tell that falsehood?
(彼は何に故に那の如き偽を告げしや)

How do you know that?
(如何にして汝は其を知り居るや)

When will you return home?
(汝は何時家に歸らんか)

Where did you live last year.
(汝は昨年何處に住し居りしや)

What study does he like best?
(彼は何人の學問を最も好むや)

Which book *will you read* first?

(何づれの書を汝は第一に讀まんか)

Did you ever see him before?

(汝は嘗て彼を見しことありや)

Does he come back to-day?

(彼は今日歸り来るや)

363. **Shall, Will.** 單ニ未來ノ意義ニシテ命令若クハ意向ノ意ヲ含マサル時ハ一人稱ヲ shall ニテ二人稱三人稱ヲ will ニテ示ス (§ 207 ヲ參照スベシ)

正文

I *shall* be drowned; nobody *will* save me.

(余は溺れて死するからん何人も余を救ふ者なからん)*

I *shall* receive my pay to-day.

(余は今日余の給料を受くるならん)

You *will* sleep well if you are thoroughly tired.

(汝若し全く疲かれ居るならば熟睡せん)

You *will* remember what you read, if you read attentively.

(汝若し注意を加へて讀むせば讀む所のものを記憶するならん)

He *will* seem foolish, if he says that again.

(彼若し再び然る如きことを言はば愚かしく見ゆるならん)

I think I *shall* pass.

(余は余が合格するならんと思ふ)

I hope you *will* pass.

(余は汝が合格するならんを希望す)

They believe that he *will* pass

* I will be drowned; nobody shall save me させば余は死する志なり何人も余を救ふ勿れの意となる

(彼等は彼が合格するふらんと信ず)
 I have no doubt he *will* come.
 (余は彼が来らん事を疑はず)

364. 現在時完了形ハ現在完了シタル事件ヲ一種ノ意義
 ニテ現在ノ時ニ連結ス (§ 214 及ビ 215 ヲ参照スベシ)

(a) 現在時不定形ヲ現在時完了形ニ誤用ス

正文

I *have been* ill for two days.
 (余は今日まで二日間病氣なりし)

For one whole week there *has been* no break in the
 rains.
 (今日まで一周間降雨なかりし)

I *have been* here for the last two weeks.
 (余は前二週間此の處にありたり)

I *have long been* of this opinion.
 (余は今に至るまで久しく此の意見を有し居りし)

My son *has been* ill all this week.
 (余の息子は今周中全く病氣なりし)

(b) 過去時不定形ヲ現在時完了形ニ誤用ス

正文

I *have not yet finished* the work.
 (余は此の仕事未だ爲し終らず)

I *have not seen* him for a long time.
 (余は久しき間彼を見ず)

I *have just finished* my work.
 (余は今丁度余の仕事を終りたり)

I *have lived* here for the last three years.

(余は今に到るまで三年間此の處に住み來りたり)

The grass *has begun* to sprout, as the rains have now set in.

(今や雨期始まりし故に草は芽生へ始めたり)¹

(c) 現在時完了形ヲ過去時不定形ニ誤用ス

正文

Baber *founded* the Mogul Empire.

(ベーバーはモガル帝國を建設せし)

Aurangzeb *did* much evil to the Mogul Empire.

(オーラングゼブはモガル帝國に甚しき害をなせし)

The rains *began* to fall as soon as the wind went down.

(風靜まるや否や雨は降り始めし)²

He *did not come* at the time when he was ordered.

(彼は命ぜられし時間に來らざりし)

(d) 過去ヲ示ス副詞又ハ句ニ現在時完了形ヲ誤ツテ添へ用ユ (§216 ヲ參照スベシ)

正文

The rain *ceased* yesterday.

(雨は昨日歇みし)

I *finished* my letter last night.

(余は余の書狀を昨夜書き上げし)

This custom *was* formerly much practised.

(古は此の習慣廣く行はれし)

1. set in 始まりし

2. went down 減せし

The parrot *died* a few days ago.

(鸚鵡は數日前に死せし)

Our horses *ran* away in the night.

(我等の馬は夜間に逃げ走りし)

I *came* here this morning.

(余は今朝此の處に來りし)

The sun *set* at seven o'clock.

(太陽は七時に没せし)

I *matriculated* in April last.

(余は過ぎし四月に入校せし)*

The famine of 1877 *was* very severe.

(千八百七十七年の饑饉は劇甚なりし)

365. 過去時完了形ハ常ニ或ル動作若クハ事件ガ他ノ動作若クハ事件ノ始マル前ニ完了セルコトヲ示ス (§ 217 ヲ参照スベシ)

(a) 過去時完了形ヲ過去時不定形ニ誤用ス

正文

I *bought* two books yesterday.

(余は昨日二冊の書を買入れし)

The sun *set* at seven o'clock.

(太陽は七時に没せし)

The meeting of the 8th instant *unanimously resolved*,
etc.

(本月八日の會議は………を全会一致にて議決せし)

I *sent* notice in December last.

(余は昨年十二月に通知を送りし)

* to matriculate 入社又は入會すとの意あり

(b) 過去時不定形ヲ過去時完了形ニ誤用ス

正文

He *had been* ill for two days, when the doctor was sent for.

(彼が二日間病みたる后ち醫師呼迎へられし)

The sheep were scattered; for a wolf *had entered* the fold.

(一匹の狼羊欄の中に入り込みたれば羊は四方に散りし)

The doctor came to the patient, who *had long been* ill.

(醫師は長く病み居たる患者の許に來りし)

366. 或ル語ノ次ギ及ビ或ル種ノ文ノ組立ニ於テハ單種不定法ノ前ノ to ヲ省略ス (§ 233 ヲ参照スベシ)

正文

I heard him *say* so.

(余は彼が爾か言ふを聞きし)

We saw him *take* aim with his bow.

(我等は彼が彼れの弓を以て狙を取るを見請けし)

I have known him *laugh* for nothing.

(余は彼が何の譯もなきに笑ふを知りたり)

You had better not *remain* here.

(汝は此の處に止まらざるをよしとす)

I had rather *take* this than that.

(余は寧ろ是よりも那れを取るべし)

He did nothing but *laugh*.

(彼は笑ふの外かなかりし)

You need not *stop* here

(汝は此の處に止まり居るに及ばず)

367. 名詞ヲ形容スル爲ニ自動詞ノ名動詞的不定法ヲ用ユル時ニハ此ノ不定法ノ動詞ニ前置詞ノ續クヲ常トス (§ 236, b)ノ注意ヲ参照スベシ)

正文

Bring me a chair *to sit on*.

(余に腰掛ける椅子を持來れ)

I was a stick *to walk with*.

(余は携へ歩む杖を要す)

The boy must have a companion *to play with*.

(男兒は共に遊ぶべき伴侶を有せざる可からず)

He had no bed *to lie on*.

(彼は身を横ふべき臥床を有せざりし)

368. 名詞ヲ形容スル爲ニ自動詞ノ過去分詞ヲ用ユルヲ多カラズト雖モ若シ之ヲ用ユル時ニハ之ヲ其ノ形容スベキ名詞ノ次ニ置カズ必ズ前ニ置カザル可カラズ (§ 242)ヲ参照スベシ)

正文

There is no scent in the rose *which faded* this morning.

(今朝凋みし薔薇花に香なし)

I am sorry for the candidate *who failed* in the last examination.

(余は前の試験に合格せざりし受験者を氣の毒に思ふ)

He is a *passed* candidate of last year.

(彼は前年の及第受験者なり)

369. 名動詞ノ前ニ持格ヲ用ユル正不正ハ § 250)ヲ参照スベシ

正文

I was pleased at *his* coming back.

(余は彼の歸り來りし爲に喜びし)

He was amused at the *horse's* running after him.

(彼は馬が彼のあとより走りし爲に喜びし)

I ask the favour of *your* sending me an answer.

(余は汝が答書を送るの好意を乞ふ)

I depend upon the *wall* being built.

(余は壁が築造されるを頼みとす)

370. 名詞不定法ト名動詞トハ意義ニ於テ異ナル所ナシ
然レモ前置詞ヲ要スル場合ニハ名動詞ヲ用非不定法ヲ用非
ズ

正文

He persisted *in* saying this.

(彼は此を言ひ張りやまざりし)

I insisted *on* having my fee paid.

(余は余の給料の拂ひ渡されん事を言ひ張りし)

We should refrain *from* doing evil.

(我等は害悪を爲すを慎まざる可からず)

They prohibited me *from* borrowing a book.

(彼等は余が書を借ることを禁ぜし)

Do not prevent me *from* working.

(余が働くを妨ぐ勿れ)

I insisted *on* his going away.

(余は彼が立去るべきことを主張せし)

I depend *on* your doing this.

(余は汝の是を爲すを頼みとす)

• 書簡の文句にして「貸答に預り度く此段願上候」の意

Abstain from speaking ill of others.

(他人の事を悪しく言ふことを慎むべし)

I take this opportunity of sending you a specimen.

(余は汝に見本を送るの此の好機を取る)*

Common Errors in the Use of Adverbs.

(副詞の用法に於ける一般の誤謬)

371. **Very, Much.** 此ノ二語ニ關シ注意セザル可カラ
ザルコト四ツアリ即チ次ノ如シ

- (a) much ハ比較級ノ形容詞若クハ副詞ヲ形容ス
- (b) very ハ原級ノ形容詞若クハ副詞ヲ形容ス
- (c) 過去分詞ヲ形容スルニハ very ヨリモ much ヲ用ユ
ルコト多シ
- (d) very ハ現在分詞ヲ形容スルニ用ユ

正文

I am *much* surprised at the news.

(余は此の知らせの爲に大に驚きし)

This news is *very* surprising.

(此の知らせは甚だ驚くべし)

I am *very* sorry to hear this.

(余は之を聞き大に悲しく思ふ)

I accept your offer *very* gladly.

(余は汝の言ひ出しを甚だ喜んで受諾す)

He is *much* more industrious than you.

(彼は汝よりも甚しく出精なり)

The air is *much* hotter to-day than yesterday.

(今日は氣候昨日よりも大に熱つし)

* 前編の文句にして「今回を好機と存じ見本送上候」の意

372. **Too.** 此ノ語ハ「過分」ノ意ナリ故ニ *very* 若クハ *much* ノ意義ニテ用ユ可カラズ

正文

My son's progress is *very* great.

(余の息子の進歩は甚だ著し)

Sugar is *very* sweet.

(砂糖は甚だ甘し)

He was *much* distressed at his friend's death.

(彼は其の友の死去の爲に大に悲みし)

A cow's milk is *very* wholesome.

(牛乳は健康に大なる益あり)

Your spelling is *very* accurate.

(汝は綴字正し)

373. **Quite.** 此ノ語ハ充分ニ完全ニノ意ナリ依テ *very* ニ代用ス可カラズ

正文

This bridge is *very* dangerous.

(此の橋は大に危険なり)

Bad water is *very* unwholesome.

(悪水は健康に大害あり)

I was *very* sorry to hear of his illness.

(余は彼れの病氣を聞き大に悲みし)

注意 時トシテ *quite* ハ之ヲ *much* ノ意義ニテ過去分詞ニ添ヘ用ユルコトアリ 例ヘバ

“quite delighted” (甚しく喜びて) “quite distressed” (甚しく悲みて) “quite frightened” (甚しく驚きて)

374. Little, a little. little ハ否定ノ副詞ニシテ「多クアラズ」又ハ「全クナシ」ノ意ナリ a little ハ肯定ノ副詞ニシテ僅小ノ範圍又ハ短時間ノ意ナリ

正文

I was *a little* vexed at having failed.

(余は失敗したりし爲め少しく煩悶せし)

He was *little* pleased at his failure.

(彼は其の失敗の爲に喜ばざりし)

375. By and by. 此ノ副詞ハ「暫時ノ後チ」ノ意ナレバ little by little (少シ宛段々ト) gradually (次第ニ) 又ハ one by one (一ツ宛追々ト) ニ代用ス可カラズ

正文

The visitors went away *one by one*.

(訪問者は順次に立去りし)

He *gradually* recovered his health.

(彼は次第に健康に復せし)

The water all flowed out *little by little*.

(水は少し宛悉く流れ出でし)

376. Of course. 此句ハ「自然ノ勢ニテ」ノ意義ヲ有ス之ヲ無暗ニ一般ノ確實ノ意義ニテ用ユ可カラズ

正文

She *certainly* sings very well.

(彼女は随分唱歌甚だ巧なり)

Did he win a prize last term? *Certainly* or *indeed* he

did.

(彼は前学期に賞を得しや 實に彼は得し)

376a. **Yes, no.** 疑問ニ對シテ *yes* ヲ以テ答フル時ハ續ク動詞ハ否定ノモノタル可カラズ 若シ答 *no* ナル時ハ續ク動詞ハ肯定ノモノタル可カラズ

Question.—Is the sky cloudy to-day?

(今日空は曇り居るや)

Answer.—Yes; it is cloudy 或ハ No; it is not cloudy.

(然り。曇り居れり 否な。曇り居らず)

Yes, it is not cloudy, 或ハ No, it is cloudy トナスヲ得ズ

Common Errors in the Use of Conjunctions.

(接續詞の用法に於ける一般の誤謬)

377. **That.** 此ノ接續詞ハ引用ヨリ成立ツ文ノ前又ハ關係副詞或ハ疑問副詞ノ前ニ用ユ可カラズ

正文

He said, "I shall soon be there."

(彼が「余は間もなく其處に到るならん」と言ひし)

He asked how long you would be absent.

(彼は如何程長く不在なるべきやを問ひし)

Tell me whether you will soon return.

(汝は直ちに歸來するらんかを余に告げよ)

378. **As well as, no less than.** 此等ノ接續詞ハ其ノ結合セル二節中前節ノ意義ヲ強カラシム (§ 289, 6 ヲ參照スヘシ)

正文

He was no less confident than hopeful.

(彼は有望あると同様に信じ深かりし)

He was convicted as well as accused.

(彼は告訴せられしのみならず有罪と宣告されし)

379. Not only, but also. 此等ノ接續詞ハ其ノ結合セル二節中後節ノ意義ヲ強カラシム (§ 289, o ヲ参照スベシ)

正文

He was not only hopeful but confident.

(彼は有望なりしのみならず信用深かりし)

He was not only accused, but also convicted.

(彼は嘗に告訴せられしのみならず有罪と判決されし)

380. Until, as long as, while. 以前ニ溯リテ時ヲ表示スルニハ until ヲ用キ時ノ長サヲ表示スルニハ as long as 又ハ while ヲ用ユ (§ 291, i ヲ参照スベシ)

正文

As long as you work hard, you will improve.

(汝は骨折り働く間は進歩せん)

He continued lazy, until he was seventeen years old.

(彼は十七才まで依然惰怠なりし)

While (或ハ so long as) the world lasts, the earth will go round the sun.

(世界の永続する間は地球太陽の周圍を廻るべし)

381. No sooner, as soon as. no sooner モ as soon as モ同一ノ意義ナリト雖モ no sooner ノ次ニハ than ナル接續詞ト do ナル助動詞ヲ用ユルコトヲ忘ル可カラズ

正文

No sooner did he hear the news than he wept aloud.

或ハ As soon as he heard the news he wept aloud.

(彼は知らせを聞くか否や高聲に泣きし)

No sooner *did* he *die than* his sons quarrelled over his property.

或ハ *As soon as* he died, his sons quarrelled over his property.

(彼が死するか否や彼れの息子等は其の財産を争ひし)

352. **Unless, if.** unless ハ if not ノ意ナリ (§ 291 ノ e ヲ参照スベシ)

正文

If you do not work hard, you will be plucked.

(汝が骨折りに働くに非ずんば汝は除き出さるべし)

If you have no objection, I will come to-morrow.

(汝に異議なくは余は明日来るべし)

352. **Because, in order that.** 原因若クハ理由ヲ表示スルニハ because ヲ用ユ 目的ヲ表示スルニハ in order that 若クハ so that 等ヲ用ユ (§ 291 ノ b 及 d ヲ参照スベシ)

正文

Men work *that* (或ハ *so that* 或ハ *in order that*) they may earn a living.

(人は生活費を儲けん爲に働く)

He took medicine *so that* he might get well.

(汝は本復せん爲に薬を用ひし)

注意 本章註解の足らざる所は巻末に補へり

第拾三章

Syntax. (文章論)

第一節 語相互の關係

解剖圖表

I. 名詞

名詞ノ種類	性	數	格
固有名詞	男性	單數	主格
普通”	女性	複數	持格
集合”	通性		賓格
物質”	中性		
抽象”			

II. 代名詞

代名詞ノ種類	性	數	人稱	格
人代名詞	男性	單數	第一人稱	主格
	女性	複數	第二人稱	持格
指示”	通性		第三人稱	賓格
	中往			
關係”	代名詞ハ性・數・人稱ニ於テ其ノ先行言ト一致ス			
疑問”				

III. 名詞若クハ代名詞ノ格

動詞ノ主格	動詞ノ賓格(直接賓言)	同格ノ賓格
動詞ノ完成言タル	” (間接 ”)	前置詞 = 賓格
主格	” (還存 ”)	副詞的賓格
同格ノ主格	” (同種 ”)	或ル形容詞 = 續ク
呼掛ケノ主格	動詞ノ完成言タル	賓格
獨立主格	賓格 (反照 ”)	間投詞的賓格
持格		

IV. 形容詞

形容詞ノ種類	度	用法
固有形容詞	原 級	屬性的
性質ノ ”	比較級	叙言的
量ノ ”	最上級	
分配 ”		
數 ”		
指示 ”		

V. 副詞

種類	度	用法	叙言的用法
單純副詞 關係 „ 疑問 „	原級 比較級 最上級	屬性的 叙言的	動詞ヲ形容スル爲ニ 形容詞 „ 副詞 „ 前置詞 „ 接續詞 „ 文 „

VI. 定動詞

動詞ノ種類	人稱	數	時	形
他動詞 自動詞 助動詞 不全動詞	一人稱 二人稱 二人稱	單數 複數	現在 過去 未來	不定 連續 完了 完了連續

法	調	
直接法 命令法 接續法	能動調 所動調	動詞ハ其ノ主言(一個若クハ以上ノ)ガ書キ現ハシアルト否ナトニ拘ラズ之ニ一致ス 動詞ハ其ノ賓言(一個若クハ以上)ガ書キ現ハシアルト否ナトニ拘ハラズ之ヲ支配ス

VII. 不定法

形	(a) 名詞不定法ノ時ノ用法	(b) 名動詞的不定法ノ時ノ用法
不定形 連續形 完了形 完了連續形	動詞ノ主言 動詞ノ賓言 動詞ノ完成言 前置詞ノ賓言 感嘆的	動詞ヲ形容スル爲ニ 名詞ヲ { 屬性的ニ } 形容スル爲ニ 叙言的ニ } 形容詞ヲ形容スル爲ニ 括弧ヲ導入スル爲ニ

VIII. 分詞即チ動詞狀形容詞

形	調	動詞ノ種類	用法
現在形 過去形 未來形	能動調 所動調	他動詞 自動詞	屬性的 叙言的 } 完成言 獨立 名動詞的

IX. 名動詞

形	調	動詞ノ種類
現在形 完了形	能動調 所動調	他動詞 有動詞

X. 接續詞

同位接續詞	從位接續詞
-------	-------

391. Nominative case (主格). 解剖圖表第三號ヲ參照スベシ。

(1) 動詞ノ主言ニテ (§ 95 ヲ參照スベシ) 例ヘバ
I did this. Rain is falling. You are tired.
(余が之を爲せし) (雨は降り居れり) (汝は疲れ居れり)

(2) 動詞ノ主言的完成言ニテ (§ 182 ヲ參照スベシ) 例ヘバ

I am the man. Caesar was declared emperor.
(余は件の人なり) (シーザーは帝と宣言されし)

備考 不定法ハ動詞ト名詞ノ間ニアルヲ得ベシ 例ヘバ

He appeared to be a wise man.
(余は賢人たる様子ありし)

(3) 主格ノ名詞若クバ代名詞ト同格ニテ (§ 19 ヲ參照スベシ) 例ヘバ

John, the carpenter, has succeeded well in business.
(大工ジョンは繁榮へたり)

(4) 呼掛ケノ目的ニテ (§ 59 ヲ參照スベシ) 例ヘバ

How art thou fallen, O Caesar!
(嗚呼シーザーよ汝は如何にして倒れしよ)

(5) 獨立ノ組立ニテ

Off we started, he remaining behind.
(彼残り居りて我等は出發せし)

備考 意義ヲ變ゼズシテ while he remained behind ナル節ヲ he remaining behind ナル句ニ代用スルヲ得ベシ 獨立組立法ニ於テハ其ノ名詞若クバ代名詞ハ上例ニ依テ知リ得ル如ク分詞ノ中ニ含メル定動詞ノ主言タル故ニ主格ナリトス

395. Possessive case (持格). 解剖圖表第三號ヲ參照

スベシ

(a) 持格ノ名詞若クバ代名詞ハ形容詞ノ如ク名詞及ビ名動詞ヲ形容ス (§ 1144 ヲ參照スベシ) 例ヘバ

名詞ヲ形容セル例 { My son. The barber's shop.
(余の息子) (理髮師の店)
The tiger's claw.
(虎の爪)

名動詞ヲ形容セル例 { I was displeased at his going away without leave.
(余は彼が許可なくして立去りたる爲に不愉快に感ぜし)
This was plan of your contriving.
(是れ汝の經營にかゝる方案なりし)

(b) 二個ノ持格名詞ガ互ニ同格 (apposition) タルカ又ハ and ニテ連結シアル時ハ最初ノ名詞ニハ apostrophe スヲ附セズ (§ 659 ヲ參照スベシ) 例ヘバ

Herod married his brother Philip's wife.
(ヘロッドは己のが兄弟なるフィリップの妻を娶りし)
Maple and Company's firm.
(メープル商會々社)

(c) 持格ノ名詞若クバ代名詞ハ動詞ノ完成言タルヲ得ベシ (代名詞ニツキテハ § 145 ヲ參照スベシ) 例ヘバ

That book is mine, not yours.
(其の書は余のものにして汝のにあらず)
This shop seems to be a barber's.
(此の店は理髮師の店なるが如し)

396. Objective case (賓格). 解剖圖表第二號ヲ參照ス

ベシ 例へバ

- (1) 動詞ノ賓言ニテ (§ 193 備考ヲ参照スベシ)
 - (a) The master teaches *Euclid*. (直接賓言)
(教師はユークリッド幾何學を教ふ)
 - (b) He teaches *his sons* *Euclid*. (間接賓言)
(彼は其の息子にユークリッド幾何學を教ふ)
 - (c) His sons were taught *Euclid*. (遺存賓言)
(彼れの息子等はユークリッド幾何學を教へられし)
 - (d) The fever will run its *course*. (同種賓言)
(熱は固有の経過を進むべし)
 - (e) He sat *himself* down. (反照賓言)
(彼は坐せし)

- (2) 動詞ノ賓言的完成言ニテ (§ 192) 例へバ
The citizens made him their *king*.
(市民は彼を彼等の王となせし)

備考 不定法ハ動詞ト名詞ノ間ニアルコトヲ得ベシ 例へバ

The people considered him *to be* a wise man.
(人民は彼を賢人なりと考へし)

- (3) 資格ノ名詞若クバ代名詞ト同格ニテ (§ 19) * 例へバ

The people of England beheaded Charles I, their *king*.
(英國の人民は其の王チャールス一世を首刎れし)

- (4) 前置詞ノ賓言ニテ (§ 60) 例へバ
He fought against *me*.
(彼は余に對して戦ひし)

A house built on *sand*.
(砂上に築かれたる家)

- (5) 副詞的資格 此ノ種ノ句ハ恰モ副詞ノ如ク語ヲ

形容ナス故ニ此ノ稱アリ (§ 267,5) 例へバ

- He lived ten *years*. (時ヲ示ス)
(彼は十年生活せし)
- He walked ten *miles*. (空間ヲ示ス)
(彼は十哩歩みし)
- This cost ten *rupees*. (價ヲ示ス)
(是は十「ラピー」を價せし)
- That box weighs ten *seers*. (量ヲ示ス)
(其の箱は十「シーア」の重さあり)
- The air is a *trifle* hotter to-day. (度ヲ示ス)
(今日は氣候少しく暑し)
- Bind him *hand and foot*. (隨從ノ状態ヲ示ス)
(彼が手足を縛れ)

(6) like 若クバ unlike 又ハ near, next ノ次ノ資格 (是レ恐クバ to ナル前置詞ヲ省略セルヨリ起リシナラン而シテ今モ尙ホ時トシテ此ノ如キ形容詞ノ次ニ to ヲ附スルコトアリ) 例へバ

- No man could bend the bow *like* him.
(何人も彼の如く此の弓を引絞る能はざりし)
- The house *nearest* the grove is the one I prefer.
(森に沿ひたる家は余の選擇に適へる所のものなり)¹

- (7) 間投詞ノ次ノ資格若クバ感嘆句中ノ資格 例へバ

Unhappy *me*; Oh unhappy *man*; Oh de r *me*;
(余は不幸なる哉) (嗚呼不幸なる人哉) (悔しい哉)
Foolish *fellow*; to have wasted his time as he has done!²
(愚漢よ彼が如く己の時間を空費したるは)²

* 1. the one = the house.
2. as he has done = as he has wasted.

387. The two uses of Adjectives. (形容詞ノ二用法)

解剖圖表第四號ヲ参照スベシ

(a) 屬性的用法 (§ 113) 例ヘバ

An *industrious* student will generally succeed.

(出精なる學生は一般に成功すべし)

(b) 叙言的用法 (§ 113) 例ヘバ

He was *industrious*, and therefore he succeeded.

(彼は出精なりし而して其の故に成功せし)

388. Noun or gerund used as an Adjective (形容詞

ニ用ナル名詞若クハ名動詞) (§ 114, 3). 名詞若クハ名動詞ハ形容詞ノ代リニ屬性的ニ用ユルヲ得ベシト雖モ叙言的ニハ爾カスルヲ得ズ 例ヘバ

名詞ノ例	{	A <i>village wachman</i> .	(村番人)
		A <i>sea captain</i> .	(船長)
		<i>Mirble hall</i> .	(大理石の館)
名動詞ノ例	{	<i>Drinking water</i> .	(飲み水)
		A <i>bathing place</i> .	(浴び場)

389. Adjective substituted for Adverb. (副詞ニ代用シタル形容詞).

動詞ヲ形容セル副詞ハ變シテ其ノ動詞ノ主言ヲ形容スル形容詞トナスコトヲ得ベシ 此ノ場合ニ於ケル形容詞ハ副詞的添加言ナリ (§ 306, c) 例ヘバ

He went away *sad*.

(彼は心中悲しく立まりし)

The stars are shining *bright*.

(星はキラキラと輝き居れり)

And *furious* every charger neighed.

(而して各の駿馬は烈しく嘶きし)

Dark lowers the tempest overhead.

(強風は暗く頭上を下る)

And *fearless* there the lowly sleep.

(而して卑しき者は其處に恐れなくして眠る)

They neither toil nor spin, but *careless* grow.

(彼等は勞作せず尙又た績ますと雖も不注意に生長す)

Slow rises worth, by poverty depressed.

(眞價ある人は貧困の爲に壓せらるゝとも徐々に昇る)

備考1. 副詞カ動詞以外ノ品詞ヲ形容ナス時ニハ此ノ副詞ニ形容詞ヲ代用スルヲ得ズ 例ヘバ He is *immensely* clever (彼は大に伶俐なり)ノ代リニ He is *immense* cleverトスルヲ得ズ

備考2. 詩ニ於テ形容詞ハ動詞ノ主言ヲ形容シ副詞ハ此ノ動詞ヲ形容スル時ニハ此等ノ形容詞ト副詞ヲ and ヲ以テ結ビ之ヲ併バシムルコトアリ 例ヘバ

When *faint* and *wearily* he drags

Along his noontide way.

(彼が弱りて其の正午の潮の道を疲かれて徐進する時に)

Trip it *deft* and *merily*.

(其を巧みに又た面白く捕へよ)

But Sir Richard bore in hand

All the sick men from the land

Very *carefully* and *slow*.

(然れどもリチャード公は注意深く此の地より徐々に凡ての病者を手に入れし)

390. Pronoun and Antecedent (代名詞ト先行言).

解剖圖表第二號及第三號ヲ参照スベシ

(a) 代名詞ハ其ノ先行言ト人稱、數及ビ性ニ於テ同一ナラザル可カラズト雖モ格ニ於テハ自己ノ文意ニ從フ(文法上之ヲ一致 Concord 或ハ Agreement ト稱ス)

After Caesar was declared *em-peror* (主格), they slew *him* (資格).

(彼等はシーザーを帝王と宣言せし後ち之を殺せし)¹

You must return the book (資格), *which* (主格) was lent.

(汝は貸し與へられし書物を返さる可からず)

(b) 關係代名詞ガ人稱異ナレル二個ノ先行言ヲ有スル時ニハ人稱ニ於テハ其ノ最も近キ先行言ニ一致ス 例ヘバ

You are the man who *is* chosen.

(汝は選定されたる人なり)

訂正文

I am the man who *seeks* to help thee in distress.

(余は汝が困厄に於てある時之を助けんとする人なり)

Thou art the man who *flees* away in the time of danger.

(汝は危難の時に於て逃走すべき人なり)

Art thou the chief, who *broke* the power of the enemy?

(敵の力を挫き去る所の大將は汝なりヤ)

391. The two uses of Adverbs (副詞ノ二用法). 解剖

1. *him* (第三人稱・單數・男性)の人稱・數・性は其の先行言なる *emperor* (第三人稱・單數・男性)に一致スと雖モ格は異なれり即ち前者は資格にして後者は主格なり是れ *him* は自己の文意より其の格を定めたるに依る
2. *who* なる關係代名詞は茲に *you* と *man* との二の先行言を有す而して其の人稱は最も近キ先行言即ち *man* (第三人稱・單數)に従ふものとす

圖表第五號ヲ參照スベシ

(a) 屬性的用法 (§ 270) 副詞ヲ屬性的ニ用ユル時ハ之ヲシテ名詞若クハ代名詞ヲ除ク外カ如何ナルモノヲモ形容セシムルコトヲ得ベシ 例ヘバ

(1) 形容詞……He is *remarkably* clever.

(*remarkably* ナル副詞ハ *clever* ナル形容詞ヲ形容ス)

(彼は非常に伶俐なり)

(2) 動詞……Act *decisively*, if you act at all.

(*decisively* ナル副詞ハ *act* ルナ動詞ヲ形容ス)

(行動するものならば確然行動すべし)

(3) 他ノ副詞…He explained his views *remarkably* well.

(*remarkably* ナル副詞ハ *well* ナル副詞ヲ形容ス)

(彼は自己の所思を非常に善く説明せし)

(4) 前置詞……The sun stood *exactly* over our heads.

(*exactly* ナル副詞ハ *over* ナル前置詞ヲ形容ス)

(太陽は我等の頭の眞上に立ちし)

(5) 接續詞…You may go *only* if you promise to return.

(*only* ナル副詞ハ *if* ナル接續詞ヲ形容ス)

(汝は立歸るべき約束さへなすならば行くも可なり)

(6) 文……*Fortunately*, all the thieves were caught.

(*fortunately* ナル副詞ハ *all...caught* ナル文ヲ形容ス)

(幸にも盜賊は悉く捕へられし)

(b) 叙言的用法 (§ 270). 此ノ用法ニ於テ副詞ハ其ノ前ニ現ハルハ動詞ノ完成言(主言的定成言若クハ賓言的定成言)タリ 例ヘバ

(1) 主言的定成言…The results will soon be

out(公にすノ意).

(結果はやつて公にされん)

(2) 賓言的定成言……We found him *quite*

well(完全なる健康に於てノ意).

(我等は彼を全く健全にて見受けし)

392. Verb and Subject (動詞ト主言). 数ト人稱ニ關シテハ解剖圖表第四號ヲ參照スベシ
定動詞ハ數及ビ人稱ニ於テ其ノ主言ト同一ナラザル可カラズ (§ 199). (是レ又ター種ノ「一致」ナリ)

百六十五頁の練習解答并に譯解

次の問題に於て動詞を其の主言と正しく一致せしむべし

1. When you *were* here last, you *were* fond of reading.
(汝は此の前此の處に居りし時には讀書を好みし)
(was ハ三人稱單數ノ動詞ニシテ you ナル二人稱複數ノ主言ト一致セズ故ニ之ヲ改ム)
2. The pleasures of life *vanish*, when we *become* old and infirm.
(吾人老衰に到る時は浮世の快樂消失すなり)
3. Thou *wouldst* have seen the horse, if it had come towards us.
(馬が我等の方に来りたりしならば汝は馬を見たりしならん)
4. School is broken up and the boys *are* playing at cricket.
(學校は退けとなり男兒等は球戯をなしつつあり)
5. The Taj Mahal at Agra* *has* stood a great many years.

* Agra は地名にして The Taj Mahal は寺なり

(アグラのタジユ、マハルは既に久しき年月存立し來りたり)

6. You *are* not the man that I want.
(汝は余が要する所の人にあらず)
7. I am still as fond of books as when you *were* here before.
(余は汝が以前此の處にありし時と同様に依然書籍を好む)
8. The movement of most quadrupeds is very swift.
(大抵の四足獸の運動は甚だ迅速なり)
9. You *will* be rewarded with a prize for your industry.
(汝は其の勉勵に向つて賞を以て酬はれん)
10. The following plans *have* been settled.
(次の如き方案決定されたり)
11. The origin of Hindu manners and customs *is* unknown.
(印度の風俗習慣の根原は知る能はず)
(are ハ第三人稱複數ノ動詞ニシテ origin ナル第三人稱單數ノ主言ト一致セズ故ニ之ヲ is 改ム)

393. The Third Person of Verbs (動詞ノ第三人稱).
主言ガ第一人稱及ビ第二人稱ノ代名詞ナル時ヲ除キ主動詞ハ常ニ第三人稱ナリトス (§ 22) 例ヘハ
(a) 名詞(第三人稱ノ主言) A *snake* is crawling through the grass.

(蛇は草の間を這ひ居れり)

- (b) 代名詞(„) *He returns to us to-morrow.*
(彼は明日我等の許に立歸るべし)
- (c) 不定法(„) *To err is human.*
(過失をなすは人間らしき所なり)
- (d) 名動詞(„) *Sleeping gives rest to the body.*
(睡眠は身体に休息を與ふ)
- (e) 句(„) *How to do this was unknown to every one.*

(之を爲す方法は各人に不知の事なりし)

- (b) 節(„) *That we must all die is certain.*
(吾人は凡て死せざる可らざる事は確實なり)

(註 上記ノ例ニ於テ動詞ハ其ノ主言ノ第三人稱ニ一致シテ同ヨク第三人稱トナリ居レリ)

394. Subjects not of the same Person. (人稱ヲ異ニセル二個以上ノ主言)

(a) 人稱ヲ異ニセル二個若クハ以上ノ主言ヲ and ニテ結合スル時ニ此等ノ主言ニ對スル動詞ハ第二人稱ヨリモ第一人稱ヲ採リ第三人稱ヨリモ第二人稱ヲ採ルナリ* 而シテ第一人稱ノ主言ハ之ヲ最後ニ記ルベシ 例へバ

James and I are (=we are) great friends.
(ジェームスと余は深き友なり)

- (b) 二個以上ノ主言ヲ or 又ハ nor ニテ結合スル時ニ

* 詳言すれば結合されたる主言に第一人稱と第二人稱が混ざるか或は第一人稱と第三人稱が混ざるか或は第一人稱第二人稱第三人稱の三共に混ざる時には其の動詞の人稱は第一人稱を採用し若し又た其二人稱と第三人稱が混ざる時には動詞の人稱には第二人稱を採用すとの意なり

ハ其ノ動詞ノ人稱ハ之ニ最モ近キ主言ノ人稱ト一致ス 例へバ

Either James or I am at the top of the class.

(ジェームスか或は余が級の首席なり)

Either you or James has done it.

(汝か或はジェームスが之をなしたり)

Neither James nor you were present.

(ジェームスも汝も出席せざりし)

(註 第一例ノ am ハ I ニ一致シ第二例ノ has ハ James ニ一致シ第三例ノ were ハ you ニ一致シ何ツレモ最モ近シ位スル主言ニ一致セリ)

然レモ各ノ主言ニ對シテ一々其ノ動詞ヲ記ルスヲ一層ヨシトス此ノ故ニ上文ヲ書き改ムル時ハ次ノ如クナルベシ

*Either James is at the top of the class, or I am.**

*Either you have done it, or James has.**

*Neither James was present, nor were you.**

(c) as well as ヲ用キテ二個ノ主言ヲ結合スル時ハ其ノ動詞ハ數及ビ人稱ニ於テ最初ニアル主言ト一致ス 例へバ

My comrades as well as I myself were caught.

(余の仲間も余自身と同じく捕はれし)

此ノ規則ノ如ク最初ニアル主言ニ動詞ノ一致スル理由ハ as well as ニテ導ケル從位節ガ從屬スル所ノ my comrades were caught ナル節ガ主節タルニヨルナリ

395. Two Singular Nouns with Plural Verb (複數ノ動詞ヲ有セル二個ノ單數名詞). 二個若クハ以上ノ單數ノ

* *I am* (I am at the top of the class. の意なり)

James has = *James has done.*

You were = *you were present.*

主言ガ and ニテ結合シアル時ハ複數ノ動詞ヲ要ス 例ヘバ

A man and his wife *have* come here asking for work.

(人々其の妻は仕事を求めんと此處に來りたり)

Your horse and mine (= my horse) *are* both at the door.

(汝の馬と余の馬は双方共に戸口にあり)

此規則ニ二個ノ例外アリ

(a) and ニテ結合シタル二個ノ名詞ガ同一ノ人間若クハ事物ヲ指ス時ハ其ノ動詞ハ複數トナサスシテ單數トナス 例ヘバ

The great scholar and poet *is* dead.

(大學者兼大詩人は死したり)

此ノ例ニ於テ scholar ト poet ハ同一ノ人間ヲ指ス故ニ次ノ如ク記ルスモ可ナリ

The man who was a great scholar and a great poet, *is* dead.

(大學者にして且つ大詩人たりし人は死したり)

備考 the great scholar and poet ノ文ニ於テノ如ク冠詞ヲ用フルコ 一個ニ止マル時ハ此ノ冠詞ハ兩個ノ名詞ニ關係スルナリ此ノ如キ一個ノ冠詞ハ二名詞ノ示ス所ノ人ハ二人ノ意ニアラスシテ單ニ一人ヲ意味シ從フテ其ノ冠詞ハ單數ナラザル可カラザルコトヲ示ス

然レモ the scholar and the poet ノ文ニ於テノ如ク冠詞ヲ二個用フル時ハ別種ノ二人ヲ意味シ此ニ續ク所ノ動詞ハ複數ナラザル可カラス 例ヘバ

The scholar and the poet *are* dead.

(學者と詩人は死したり)

(b) and ニテ結合シタル二個ノ名詞ヲ單獨ノ物体若クハ觀念ヲ示スモノト見做ス時ハ其ノ動詞ハ單數ナリト

ス 例ヘバ

Truth and honesty *is* the best policy.

(眞實正直は最上の處世法なり)

Curry and rice *was* his favourite food.

(ライスカレーは彼れの常用の食物なりし)

Slow and steady *wins* the race.

(徐々且つ不拔ならば競走に勝つ)

上例ノ truth and honesty ハ the practice of truth and honesty (眞實と正直の實行) ノ意ニシテ從フテ其ノ動詞ハ單數ナリ 尙ホ之ニ同ジク curry and rice ハ the food consisting of curry and rice (カレーと米より成る所の食物) 即チ the mixture of curry and rice (カレーと米との混合物) ノ意ニシテ Slow and steady ハ the plan of being slow and steady (徐々且つ不拔なるの仕方) ノ意ナリ

396. One Singular Noun with Plural Verb (複數ノ動詞ヲ有スル一個ノ單數名詞). 群集名詞(集合名詞ト全ク別種ノモノ一§ 39 ヲ參照スベシ)ニ續ク其ノ動詞ハ複數ナリトス 例ヘバ

The jury (詳シク言ヘバ各個の陪審人等即チ陪審官の人々) *were* divided in *their* opinions, and could not agree as to the verdict.¹

(陪審官は意見に於て別かれ判決に關して一致せざりし)

(註 此ノ文ノ陪審官ハ陪審ニ連ナレル人々ヲ個々ニ示セルヲ以テ群集名詞ニシテ集合名詞ニアラス此ノ故ニ續ク其ノ動詞ハ複數ナリトス)

The jury (一團として) *selected its* speaker.

(陪審官は其の議長を選舉せし)

* were divided in their opinions 意見を異にせし

(註 此ノ文ノ jury ハ陪審官ノ人々全体ヲ一個ノ團體トシテ示ス故ニ前文ト同一語ナレモ集合名詞ニシテ群集名詞ニアラズ此ノ故ニ續ク所ノ其ノ動詞ハ單數ナリトス)

The multitude (各個の男子と婦人) rise from their seats and shout applause.

(群集の人々は其の席より立ち上り賛成することを叫びし)

This multitude (一團として) is too large to be contained in so small a building.

(此の群集は大勢にして斯の如き小き建物の中に入りきれず)

(註 前文ノ群集ハ群集ヲナス人々個々ヲ意味シ群集名詞ナリ後文ノ群集ハ群集ヲナス人々全体ヲ一ノモノト見做シテ集合名詞ナリ)

397. The Simple or Non-Infinitive. (單純不定法或

ハ名詞不定法) 解剖圖表第七號ヲ參照スベシ

單純或ハ名詞不定法ハ

- (a) 動詞ノ主言
- (b) 動詞ノ賓言
- (c) 動詞ノ完成言
- (d) 前置詞ノ賓言(之レ甚ダ稀ナリト雖モ)
- (e) 感嘆ノ一種ノ形 (§ 235 ヲ參照スベシ)

タルヲ得ベシ

- (a) 動詞ノ主言 To sleep is necessary to health.
(睡眠は健康に必要なり)
- (b) 動詞ノ賓言 We desire to improve.
(吾人は進歩を望む)
- (c) 動詞ノ完成言 He appears to be clever.
(彼は伶俐なる如く見ゆ)

(d) 前置詞ノ賓言 Ynur cow is about (=near) to die (= death).

(汝の牝牛は死に瀕す)

(e) 感嘆ノ形 To think that he should have deceived me!

(彼が余を欺きたらざる可からずと考ふればなさない哉)

398. The Gerundial or Qualifying Infinitive. (名動詞的或ハ形容不定法) 解剖圖表第七號ヲ參照スベシ

- (a) 副詞ノ用ヲナシテ動詞ヲ形容スル爲ニ
- (b) 形容詞ノ用ヲナシテ名詞ヲ形容スル爲ニ
- (c) 副詞ノ用ヲナシテ形容詞ヲ形容スル爲ニ
- (d) 獨立用法ニテ括弧ヲ挟ム爲ニ

(a) 動詞ヲ形容ス They went out to see the sport.
(彼等は遊戯を見ん爲に出て行きし)

(b) 名詞ヲ形容ス

A house to let.	(獨性的)
(貸し家)	
This house is to let.	(叙言的)
(此家は貸まなり)	

(c) 形容詞ヲ形容ス Be quick to hear and slow to speak.
(聞くに敏にし語るに遅たれ)

(d) 括弧ヲ挟ム He is;—to speak plainly,—a thief.
(有体に言へば彼は盜なり)

備考 名詞ヲ形容スルニ當ツテ不定法ヲ所動詞ニテ用ユルコトアリ 然レモ如何ナル場合ニハ能動詞ヲ用ユル方慣用ニ最モ適シ如何ナル場合ニ所動詞ノ最モ適ヘルヤニ

關シテハ一定ノ規則ヲ與フヲ得ズ *

A men *to be admired*. (屬性的)

(嘆賞すべき人)

That man is *to be admired*. (叙言的)

(那の人は嘆賞すべし)

399. Three uses of Participles. (分詞ノ三用法). 解剖圖表第八號ヲ參照スベシ

(a) 屬性的用法(形容詞ノ屬性的用法ニツキテハ §113ヲ見ルベシ) 例ヘバ

A *willing* horse. (氣儘なる馬)

A *fallen* tree. (倒れたる樹)

A *withered* flower. (凋みたる花)

(b) 叙言的用法 分詞ヲ叙言的ニ用ユルハ(1)分詞ガ或ル動詞ノ完成言タル時カ又ハ(2)其ノ前ニ或ル名詞ヲ添ヘテ分詞ヲ獨立ニ用ユル時ニ於テナリトス

(1) $\left\{ \begin{array}{l} \text{We found him } \textit{sleeping}. \text{ (賓言的完成言)} \\ \text{(我等は眠り居れる彼を見出せし)} \\ \text{He became } \textit{alarmed}. \text{ (主言的完成言)} \\ \text{(彼は驚かされし)} \end{array} \right.$

(2) Our pace was slow, the horse *being tired*. (獨立組立)
(馬疲かれ居りし故に我等の歩調は遅かりし)

備考 1. 分詞ガ獨立組立ニ於テ叙言的ナルコトハ獨立句ヲ差支ク從位節ノ形ニ書キ改ムルコトヲ得且ツ其ノ節ニ於テ分詞ニ代用スルニ定動詞即チ叙言ヲ以テスル事ヲ以テ明カナリトス

Our pace was slow, the horse *being tired*. (獨立組立)

* when the passive=when the passive voice is the more idiomatic.

Out pace was slow, *because the horse was tired*. (從位節)
備考 2. 分詞ノ叙言的用法(2)ノ場合ニ於テ如何ナル名詞若クハ代名詞モ書キ現ハシアルザ時ニハ分詞ヲ無人稱獨立(§ 28, a 及ヒ § 274, 4ヲ參照スベシ)ト稱ス 例ヘバ

Supposing this to be true, you are certainly guilty.

(此の事を眞實なりと假定する時は汝は確かに罪あり)

(c) 名動詞的用法 (§ 251). 此ノ用法ニテハ分詞ハ或ルコトガナサルベキコトヲ示シ動詞狀名詞ノ意ヲ含蓄ス 例ヘバ

$\left\{ \begin{array}{l} \text{This prevented the letter } \textit{being sent}; \\ = \text{This prevented the } \textit{sending of the letter}. \end{array} \right.$
(是は手紙の送らるゝを妨げし)

分の解剖

Brahmadatta, king of Benares, took a journey through the length and breadth of his kingdom to see if his subjects were happy.

ベナース王ブラマダッタは臣民の安寧幸福なるやを察せん爲に其の王國を隈なく旅行せし

Brahmadatta—固有名詞, 男性, 單數, 主格, took ナル動詞ノ主言

King—普通名詞, 男性, 單數, 主格, Brahmadatta = 同格タリ Of—Benares ヲ其ノ賓言ニ有シテ前置詞

Benares—固有名詞, 中性, 單數, of ナル前置詞ノ次ニアリテ資格

Took—他動詞, 三人稱, 單數, 過去不定時, 直接法, 能動調, 其

ノ主言 Brahmadatta ト一致シ journey ヲ其ノ賓言ニ有
ス
 Journey—普通名詞,中性,單數, took ナル動詞ノ次ニアリ
 テ賓格
 Through—length and breadth ヲ其ノ賓言ニ有シテ前置詞
 Length—抽象名詞,中性,單數, through ナル前置詞ノ賓格
 And—length ト breadth ノ二名詞ヲ結合シテ同位接續詞
 Breadth—抽象名詞,中性,單數, through ナル前置詞ノ賓格
 Of—kingdom ヲ其ノ賓言ニ有シテ前置詞
 His—人(或ハ指示)代名詞,男性,單數,持格,三人稱,性,數,及
 ビ人稱ニ於テ其ノ先行言 Brahmadatta ト一致ス
 kingdom ナル名詞ヲ形容ス
 Kingdom—普通名詞,單數,中性, of ナル前置詞ノ次ニアリ
 テ賓格
 To see—他動詞,不定法,現在時不定形,名動詞的用法, took
 ナル動詞ヲ形容ス; if……happy ナル節ヲ其ノ賓
 言ニ有セル故ニ他動詞
 If—從位接續詞
 His—上ニ出デタルト同シ
 Subject—普通名詞,通性,複數, were ナル動詞ノ主言ニシ
 テ主格
 Were—自動詞,三人稱,複數,過去不定時,直接法ニシテ其
 ノ主言 subject ト一致ス
 Happy—性質ノ形容詞,原級,叙言的用法, were ナル動詞ノ
 主言的完成言

第二節 語の位置

Adjective and Noun.

形容詞ト名詞

400. 形容詞ガ其ノ形容セル名詞ニ對スル位置ハ之ガ屬
 性的ニ用キアルカ又ハ叙言的ニ用キアルガニ從フテ定マル
 (§113 ヲ參照スベシ)

Adjective used Attributively.

(屬性的に用ゐたる形容詞)

401. 形容詞ヲ屬性的ニ用ユル時ハ其ノ形容セル名詞ニ
 可及的近ク之ヲ置クヲ定則トス

402. 散文ニ於テハ形容詞ハ其ノ形容スル名詞ノ前ニア
 ルヲ常トス 詩ニ於テハ韻又ハ律ノ都合ニヨリ其ノ次ニ置
 クヲアリ 例ヘバ

散文

A just man. (正しき人)	Bright prospects. (立派なる展望或ハ前途)	This rose. (此の薔薇花)
Other roses. (他の薔薇花)	Much pain. (甚しき苦痛)	Ten men. (十人)
The fifth class. (第五級)	Double promotion. (二重の昇進)	

詩

He sang to lords and ladies gay

the unpremeditated lay.

(彼は派手なる貴族の男女に向つて豫想の及ばざりし歌を唱ひし)

The old man eloquent.

(雄辯ふる老人)

403. 或ル形容ノ句ヲ用キテ形容詞ヲ擴充スル時ニハ形容詞ハ必ズ名詞ノ次ニ置カザル可カラズ 例ヘバ

A man dear to all.

(註 to all ナル形容ノ句ハ dear ナル形容詞ヲ擴充ス)

(凡ての人に親みを受くる人)

A matter too urgent to be put off any longer.

(註 to be put off any longer ナル形容ノ句ハ urgent ナル形容詞ヲ擴充ス)

(此上抛擲なしおき難き緊急なる事件)

A doctor well practised in all the arts of medicine and worthy of public confidence.

(註 in all the arts of medicine ナル形容ノ句ハ practised ナル形容詞ヲ擴充シ of public confidence ナル形容ノ句ハ worthy ナル形容詞ヲ擴充ス)

(醫癩の凡ての術に熟練し世間一般の信用を受くるに足る醫師)

Bread enough and to spare.

(註 to spare ナル形容ノ句ハ enough ナル形容詞ヲ擴充ス蓋シ此ノ全句ヲ詳記スレバ Bread enough and enough to spare ナリ)

(充分にして餘き残すに見る量の題記)

備考 上例ノ如キ文ニ於テハ § 401 ニ舉ゲタル定則ニ從ヒテ形容詞ヲ其ノ形容スル名詞ノ次ニ置カザル可カラズ

何トナレバ若シ然ラズシテ a dear to all man トスル時ハ to all ハ形容詞ヲ其ノ名詞ヨリ分離スルニ到ル故ナリ

404. 數個ノ形容詞ガ同時ニ同一ノ名詞ヲ形容スル時ハ之ヲ悉ク其ノ名詞ノ前ニ置クヲモ又タ次ニ置クヲモ得ベシ 例ヘバ

A hores strong, swift, and young;

或ハ

a strong, swift, and young hores.

(強く速に且つ若き馬)

備考 1. 數個ノ形容詞中字數多キモノアル時之ヲ字數少ナキモノヨリモ後トニ置ケハ句調宜シキヲ得ルナリ 例ヘバ

An old and conscientious servant.

(老ひたる良心深き僕)

The shorter and less laborious of the two method.

(二方法中の簡且つ勞少なきもの)

備考 2. 同一ノ名詞ヲ形容スル數個ノ形容詞何ツレモ字數多キモノナル時ハ之ヲ名詞ノ次ニ置ケバ句調宜シキヲ得ベシ 例ヘバ

God is the maker of all things visible and invisible, animate and inanimate.

(神は有形無形有生無生一切の物の造物主なり)

405. 要點タルヲ示サシメ即チ語意ヲ強メン爲ニ形容詞ヲ其ノ名詞ノ次ニ置グコトアリ

形容詞ヲ其ノ名詞ノ次ニ置ク時ハ何が故ニ形容詞ニ其ノ要點タルコトヲ示サシメ即チ語意ヲ強カラシムルヤト云フ

ニ元來形容詞ハ其ノ名詞ノ前ニアルベキモノナレバ此ノ自然ノ位置ヲ變シテ次ニ置ク時ハ自然ノ位置ニアルヨリモ注意ヲ引クコト大ナレバナリ 例ヘバ

Things *temporal* are less precious than things *eternal*.
(現世限りの物は永久不滅の物の如く貴からず)

No man *living* could have done so well.
(生ける人にして斯の如く能くなし能ふ可からざりし)

I appeal from Philip *drunk* to Philip *sober*.
(余は大酔したるフィリップより眞面目のフィリップに訴ふ)

The body *natural* and the body *politic*.
(自然的集團と政治的集團)

406. 前項ニ述ベタルト同様ニ語意ヲ強ムル爲メ即チ物ヲ殊別スル爲ニ形容ノ稱號ニ用キタル形容詞ハ之ヲ其ノ名詞ノ次ニ置ク 例ヘバ

Alfred the *Great*. Alexander the *Great*.
(アルフレッド大王) (アレキサンダー大王)

Yudisthir the *Just*. Ethelred the *Unready*.
(ユヂシール正王) (セルレッド週王)

Albert the *Good*. Louis the *Pious*.
(アルバート善王) (ルイ敬神王)

Charles the *Fat*. Philip the *Fair*.
(チャールス肥王) (フィリップ美王)

Richard the *Lion-hearted*. Charles the *Bold*.
(リチャード猛王) (チャールス勇胆王)

Elder 及ヒ younger ノ稱號ノ位置モ亦ク同一ノ原則ニヨラザル可カラス 例ヘバ

Cato the *Elder*; Cato the *Younger*.
(兄ケート) (弟ケート)

Pliny the *Elder*; Pliny the *Younger*.
(兄プライニ) (弟プライニ)

同一名稱ノ國王ノ名ハ其ノ年代ノ順序ヲ區別スル爲ニ第一世、第二世、第三世等ニ區別シ來リタリ 此ノ如キ順序ノ稱號ハ羅馬數字ヲ以テ之ヲ示シ且ツ之ヲ最後ニ置クヲ常トス 例ヘバ

Edward I. (= Edward the First)
(エドワード第一世王)

Edward II. (= Edward the Second)
(エドワード第二世王)

407. 形容詞ヲ其ノ名詞ノ次ニ置クヲ慣用トナス常用ノ句アリ

是ハ重ニ佛蘭西語若クハ佛蘭西慣用語法ヨリ轉シ來リタル言辭ニ於テナリト雖モ時トシテハ語意ヲ強ル爲メ又ハ對照ノ爲ニカクナスコトアリシ 例ヘバ

The body *politic* (政治的集團即チ國家若クハ社會): (此ノ用法ハ古ハ自然的集團即チ自然ノ造リタル人間各個人ノ集團ト政治的集團即チ社會ノ造リタル各個人ノ集團トヲ對照シタルニ基ケルナリ)

Malice prepense (故意の惡意): (以前ヨリ巧ミタル又ハ考ヘオキタル或ル惡シキ目的)

Heir opparent: (生得相續者): 生得ノ權利ノ爲ニ從フテ何人ノ目ニモ王位又ハ資産ヲ繼承スベキ人ヲ云フ

Lords Temporal and Ppiritual (社會貴族及宗教貴族): 現世的即チ社會的階級ノ爲ニ貴族タルモノト精神的即チ宗教的階級ノ爲ニ貴族タルモノヲ區別スルナリ

Notary public 公證人; 公衆ノ爲ニ証書遺言書其他ノ法定證書ヲ登録スル人

Night errant 巡回武士; 不正ノ事ヲ正ス爲ニ天下ヲ巡回スルヲ其ノ務メトスル武士
Governor-General 總督; *Inspector-General* 總監督;
Viceroy elect 撰舉副王; *Bishop elect* 撰舉僧正, 等
 (elect ナル形容詞ハ其ノ職ニ指命即チ撰定サレアルト雖モ未ダ任命ノ式ヲ經ザル官人ヲ意味ス)
The sum total 合計; *price current* 時價; *a fiend incarnate* 肉身ノ怨敵; *a god incarnate* 肉身ノ神; *point blank* 空點 (射撃標的ノ中心ナル白點若クハ空虚ノ點);
letters patent 特許狀; *lord paramount* 無上ノ君;
things temporal 現世限リノ事物; *things eternal* 永久不滅ノ事物

Adjectived used Predicatively.
 (叙言的に用ゐたる形容詞)

408. 形容詞ヲ叙言的に用ユル時ハ之ヲ其ノ名詞ノ次ニ置ク

- (a) 動詞ガ自動詞ナルカ或ハ所動詞ナル時
All men are mortal.
 (凡て人は死すべきなり)
He lay dead on the ground.
 (彼は死して地上に横はりし)
He became very rich.
 (彼は甚だ富有になりし)
He was left rich by his father.
 (彼は父の死後に富有に残りし)
He was considered wise.
 (彼は賢なりと思惟されし)

(以上何ゾレモ主言的完成言)

- (b) 動詞ガ他動詞ニシテ能動詞ナル時 例へバ
My father left me poor, but well educated.
 (余の父は余を貧しくと雖も充分教育して殘せし)
The judge declared him guilty.
 (オ判官は彼を有罪ニ宣告せし)
 (以上何ゾレモ主言的完成言)

409. 語意ヲ強ムル爲ニ叙言的形容詞(若クハ分詞)ヲ文ノ最初ニ置キ一層ノ注意ヲ引カシムルコトアリ 例へバ

Great is Diana of the Ephesians.
 (イフェシア人のディアナは大なり)

Disgraced you are, and will remain.

(汝は今ま現に耻しめられ居り而して其の耻しめられたるまゝに續かん)

Sweet are the uses of adversity.

(逆運の効用は樂し)

Adverbs.

副詞

410. 副詞ノ形容スベキ語ガ形容詞ナルカ副詞ナルカ前置詞ナルカ又ハ接續詞ナル時ハ形容スル副詞ハ之ヲ直チニ其ノ形容スベキ語ノ前ニ置ク 例へバ

- | | | |
|--------------|---|--|
| 形容詞若クハ分詞ナ形容ス | } | <i>We are half pleased and half sorry.</i>
(我等は半ば喜び半ば悲む) |
| | | <i>The mango you brought was quite ripe.</i>
(汝が持來りし芒果は全く熟し居りし) |
| | | <i>Your pay is too high for your work.</i>
(汝の給料は其の仕事に對し高過ぎ居れり) |

- 副詞ヲ形容ス { A snake creeps *very* silently.
(蛇は甚だ静かに這ふ)
- 前置詞ヲ形容ス { He stood *far* apart from me.
(彼は余に遠くはなれて立ちし)
- 前置詞ヲ形容ス { He seized my hand *rather* eagerly.
(彼は余の手を寧ろ熱心に掴みし)
- 前置詞ヲ形容ス { He arrived *long* before the time.
(彼は時間の途が以前に到着せし)
- 前置詞ヲ形容ス { We sat *almost* in the shade.
(我等は殆んど蔭に於て生せし)
- 前置詞ヲ形容ス { He stood *exactly* behind me.
(彼は丁度余の後ろに立ちし)
- 接續詞ヲ形容ス { Tell me *precisely* how it happened.
(余に其が起りし次第を精確に告げよ)
- 接續詞ヲ形容ス { I like mango *only* when it is ripe.
(余は熟した時のみ芒果を好む)
- 接續詞ヲ形容ス { He did this *merely* because he was ordered.
(彼は命ぜられしことの單なる理由より之を爲せし)

備考 上記ノ規則ニ一ノ例外アリ enough ナル語(形容詞ニアラズシテ副詞ナル時)ハ其ノ形容スル語ノ次ニ之ヲ置ク 例ヘバ

Your pay is good *enough* for your work.

(汝の給料は其の仕事に對して充分あり)

He spoke highly *enough* of what you had done.

(彼は汝が爲したる事に關し充分賞めし)

411. 副詞ノ形容スベキ動詞ガ自動詞ナル時ハ形容スル副詞ハ之ヲ直チニ其ノ次ニ置ク 例ヘバ
He lived *well* and died *happily*.

(彼は安樂に生活し幸福に死せし)

He laughed *heartily* at that joke.

(彼は那の諧謔に對して心から笑ひし)

He spoke *foolishly* about his own merits.

(彼は愚かにも自己の功績を吹聴なす)

此ノ規則ニ七ノ例外アリ

always, never, often, sometimes, generally, rarely(稀にノ意)

及ビ seldom(稀にノ意) ナル副詞ハ之ヲ其ノ形容スル動詞ノ

次ニ置カズシテ前ニ置クナリ 例ヘバ

He *always* laughed at a good joke.

(彼は罪のふき晴謔に對しては常に笑ひし)

He *never* spoke about his own merits.

(彼は自己の功績を語せしことなし)

He *often* came here to see me.

(彼は余に會はん爲に屢々此の處に來りし)

He *sometimes* slept in my house.

(彼は時とまては余の家に眠りし)

He *seldom* stayed with me for long.

(彼は長時間余を留まりしこと稀なり)

然レモ以上ノ語ハ be ナル動詞ニ對シテハ前ニテモ次ニ

テモ何ツレニ置クモ可ナリ 例ヘバ

He *is seldom* absent.

(彼は不在なること稀なり)

He *seldom is* absent.

(同意)

412. 副詞ノ形容スベキ動詞カ他動詞ナル時ハ形容スル副詞ヲ動詞ト其ノ賓言ノ中間ニ置キテ兩者ヲ分離セシム可カラズ此故ニ副詞ハ動詞ノ前カ或ハ動詞ノ賓言ノ後ニ置カ

ザル可カラズト雖モ賓言ノ後ニ置クヲ適當ナリトス 例へバ

He bore his losses *cheerfully*.

(彼は勇ましく其の損失を忍びし)

He did his work *patiently* till sunset.

(彼は日没まで其の仕事に耐忍深く爲せし)

He *briefly* explained his meaning.

(彼は其の意を簡単に説明せし)

然リト雖モ時トシテハ其ノ賓言ガ節ヲ以テ形容シアルカ
或ハ數多^{*}ノ語ヨリ成ル時ニハ副詞ハ動詞ト其ノ賓言ノ間
ニアルコトアリ 例へバ

He rewarded *liberally* all those who had served him well.

(彼は己れに善く仕へし凡ての人に莫大に報酬せし)

然レモ之ヨリハ He liberally rewarded ... (即チ副詞ヲ
動詞ノ前ニ置ク)トスル方慣用ニ適スルモノトス

413. 助動詞ヲ用キテ動詞ノ時ヲ形造ル時ハ副詞ハ一般
ニ之ヲ助動詞ト主動詞ノ間ニ置ク 例へバ

The wind has *suddenly* risen. (風は俄かに起りたり)

Your son will *soon* return. (汝の息子は間もなく歸來らん)

I have *quite* understood you. (余は汝の言ふ所を全く理解し
たり)

He is *almost* dying, I fear. (彼が殆んど死にかへり居らん
を余は危む)

之ト同ジク not ナル否定ノ副詞モ助動詞ト主動詞ノ間ニ
置クヲ常トス 例へバ

* a to 1 many 「多数の」

We have *not* seen him since Monday last.

(我等は前の月曜日以來彼を見受けず)

I did *not* know how ill he was.

(余は彼が今日の病状如何に悪しかりしやを知らず)

We shall *not* punish him severely.

(我等は彼を嚴しく罰することなからん)

次の文に於て副詞ノ位置を正すべし

(1) He stood *exactly* in front of me. (§ 411 = 依ル)

(彼は丁度余の前に立ちし)

(2) He explained his words *clearly*. (§ 412 = 依ル)

或ハ

He *clearly* explained his words. (但シ前者ヲヨシトス)

(彼は自己の言を明瞭に説明せし)

(3) I have *often* read that book. (§ 413 = 依ル)

(余は屢々其の書物を讀みたりし)

(4) He *severely* struck the ox with his whip. (§ 412 = 依ル)

(彼は其の鞭を以て酷しく牝牛を撃ちし)

(5) He will *soon* return home. (§ 413 = 依ル)

(彼は間もなく歸家せん)

(6) He has *almost* finished his task. (§ 413 = 依ル)

(彼は大略其の仕事を終へたり)

(7) The rain *suddenly* began to fall. (§ 412 = 依ル)

(雨は俄かに降り始めし)

(8) Your teacher is pleased *enough* with your industry.

(§ 410 備考 = 依リ)

(汝の師は汝の勤勉に對して充分に喜び居れり)

(9) He *seldom* went out before sunset. (§ 411 備考 = 依リ)

(彼は日没前に出行きしこと稀なり)

414. 次ノ二ノ場合ニ於テハ副詞ヲ文ノ初メニ置ク

(a) 副詞ヲ用テ全文ヲ形容セントスル時 例ヘバ
Lucking no one was inside, when the roof fell in.
 (幸にも屋根の墜落なせし時一人も家の内にあらざりし)

(b) 副詞ヲ最モ語意強ク用ユル時
Down went the Royal George with all her crew complete.

(シーツ王子は其の船に乗り居たる一同と共に沈みし)

次ノ二文ノ意義ハ全ク副詞ノ位置ニ依ツテ定マル

(1) *Happily he did not die.*
 (幸にも彼は死せざりし)

(2) *He did not die happily.*
 (彼は幸福に死せざりし)

(1)ノ文ニ於テ副詞ハ上ニ説キタル如ク文ノ初メニアリ故ニ是レ全句ヲ形容スルナリ (2)ノ文ニ於テハ副詞ハ *die* ナル動詞ノ次ニアル故ニ *die* ナル自動詞ヲ形容スルナリ 此ノ故ニ (1)ノ文意ハ「彼が死せざりしは幸なる事なり」トノ意ニシテ (2)ノ文意ハ「彼は幸なる死を遂げざりし」ノ意ナリ

415. **Only** 此ノ語ヲ含メル文ハ此ノ語ノ位置ニ依テ文意定マル

(a) *Only he promised to read the first chapter of that book.*

(僅だ彼のみ其の書物の第一章を読むことを約束せし)

此ノ文ノ *only* ハ副詞ニ非ズシテ形容詞ナリ 即チ形容詞トシテ *he* ナル代名詞ヲ形容セルナリ 全文ノ意ハ「彼

れのみ(他の者は一人も然らず)其書物の第一章を読むことを約束せし」ノ意ナリ

(b) *He only promised to read the first chapter of that book.*

(彼は其の書物の第一章を読むことを約束せしのみ)

此ノ文ニ於テハ *only* ハ *promised* ナル動詞ヲ形容スル副詞ニシテ全文ノ意ハ「彼は第一章を読むことを約束せしのみにして其約を履まざりし」トナリ

(c) *He promised only to read the first chapter of that book.*

(彼は其の書物の第一章を読むことのみを約束せし)

此ノ文ニ於テハ *only* ハ *read* ナル動詞ヲ形容スル副詞ニシテ全文ノ意ハ「彼は第一章を單に読むことを約束せし外か之を研究し又ハ分解し又ハ暗誦することを約束せざりし」ナリ

(d) *He promised to read only the first chapter of that book.*

(彼は其の書物の第一章のみを読むことを約束せし)

此ノ文ニテハ *only* ハ *the first* ナル形容詞ヲ形容スル副詞ニシテ全文ノ意ハ「彼は第一章の外か読むことを約束せざりし」トノ意ナリ

(e) *He promised to read the first chapter of that book only (or only of that book).*

(彼は其書物のみの第一章を読むことを約束せし)

此ノ文ニ於テ *only* ハ *of that book* ナル句ヲ形容スル副詞ナリ 全文ノ意ハ「彼は其書物の外か第一章を読むことを約束せざりし」

Subject and Object.

主言ト賓言

416. 普通ノ英語散文ニテハ主言ハ動詞ヨリ前ニアルヲ本則トスト雖モ又タ次ニ掲グル例外ヲ知ラザル可カラズ

(a) 動詞ガ自動詞ニシテ there ナル導副詞之ニ先立ツ時 (§ 29 ヲ参照ス) 例ヘバ

On the whole there is nothing to prove his guilt. (全体に於て彼が罪を証する所なし)

There came a messenger from the king's court. (王の朝廷より一使來りし)

(註 上文ノ there ハ何ツレモ動詞ヲ主言ヨリ前ニ置ク爲ニ用シモノニシテ全ク無意義ナリ)

(b) 動詞ヲ疑問ニ用ユル時 例ヘバ

At what hour in the morning does he get up? (彼は朝何時に起くるや)

How came you to catch such a bad cold? (如何にして汝は此の如き激性の風邪にかゝりしや)

What are you carrying in that bag? (汝は其の袋の中に何を携へ居るや)

(c) 動詞ヲ命令法ニ用ユル時 例ヘバ

Go ye into all the world and preach the gospel to every creature.

(汝世界全般に到り各の動物に福音を説け)

Thither our path lies: wind us up the height.

(我等の道は彼處に向つて横はる我等をして頂點に迂越し上らしめよ)

備考 然レモ動詞ガ二人稱ナル時ニハ主言ヲ書き現ハサルヲ普通トス而シテ命令法ハ一人稱及ビ三人稱ニテ用

ユルコト甚ダ稀ナリトス (§ 220 ヲ参照スベシ)

(d) 願望ヲ表示スル爲ニ動詞ヲ接續法ニテ用ユル時若クバ助動詞ノ may ヲ用キテ願望ヲ表示スル時 例ヘ

Long live the king.

(王が長く生活せんを願ふ)

May he never again come inside this house.

(彼が再び此の家の中に来ることなきを願ふ)

(e) 條件ヲ表示スル爲ニ動詞ヲ接續法ニテ用キ且ツif ヲ省略スル時 (§ 230, 29 ヲ参照スベシ) 例ヘバ

Should he meet me, he would know me at once.

(=If he should meet me, he)

(彼余に出會はゞ直ちに余を識別すべし)

Had he met me, he would have known me.

(=If he had met me, he)

(彼は余に出會ひたりしとも余を知らざりしならん)

Were I certain of his motives, I could trust him.

(=If I were certain of his motives, I)

(余が彼れの本心を確知し居りしならば余は彼を信じ能ひしなりし)

(f) 直接説話ノ言辭ヲ記入スル爲ニ動詞ヲ用キ之ヲ記入サレタル言辭ノ中間ニ置ク時 例ヘバ

"Agreed," said the prince, "we will go there to-night."

(王子曰く承知せり我等は今夜其處に到るべし)

"Let me not love," quoth he.

(彼曰く余をして愛せしむる勿れ)

(註 "Agreed we will go there to-night" ハ直接説話ノ言辭ナリ said ハ其ノ中間ニ挿ミテ之ヲ記入スル爲

ニ用非シ動詞ナリ)

(g) 語意ヲ強ムル爲ニ叙言的形容詞若クハ分詞ヲ文ノ初ニ置ク時 (§ 182 ノ備考 2 及ビ § 409 ヲ参照スベシ) 例ヘバ

Great was *the delight* of the citizens.

(市民の喜は大なりし)

Blessed are the *merciful*; for they shall obtain mercy.

(慈悲深き人は天恵を享く何となれば其等の人には他より慈悲を受くる故に)

(h) 語意ヲ強ムル爲ニ副詞ヲ文ノ初ニ置ク時 (§ 414 ヲ参照スベシ) 例ヘバ

Up rose *the men* at the word of command.

(命令の語下るや人々は立上りし)

There goes *the thief*; catch him, if you can.

(盗賊行く汝能ふべくんば之を捕へよ)

(i) 二個ノ單文ヲ一對ノ相關語ヲ用非テ結合スル時ハ兩節中一節ノ主言ヲ其ノ動詞若クハ助動詞ノ後ニ置クコト屢々アリトス 例ヘバ

As men sow, so will *they* also reap.

(人は播種に應じて収穫せん)

The more I saw of him, the less did *I* like him.

(余は彼れの爲す所を見しと多きに従ひ益々彼を好まずなりし)

So rotten was *the boat*, that it very soon sank.

(短艇は大に朽ち居りし爲に直ちに沈みし)

No sooner did *he* began to speak, than every one was silent.

(彼が発言し始むるや否や各人は沈黙せし)

Scarcely had *we* reached home, before it began raining.

(我等が家に到着せざりしうちに雨降り出せし)

(j) 動詞ノ賓言ヲ之ガ前ニ置ク時ニハ其主言ハ之ヲ次ニ置カザル可カラズ 例ヘバ

Silver and gold have *I* none.

(余は銀も金も少しも有せず)

417. 動詞ノ賓言ガ關係代名詞ナルカ又ハ疑問代名詞ナル時或ハ語意ヲ強メン爲ニ動詞ノ賓言ヲ文ノ初ニ置ク時ノ外カハ動詞ノ賓言ハ直チニ動詞ノ次ニ之ヲ置ク (§ 176 ヲ参照スベシ) 例ヘバ

The house *that* we occupy suits us well. (關係代名詞)

(我等が住する家は甚だ我等に適す) 賓言タリ)

What kind of book do you like best? (疑問代名詞)

(如何なる種類の書を汝は最も好むや) 賓言タリ)

Silver and gold have *I* none. (語意ヲ強ムル爲ニ賓言ヲ

(前出)

最初ニ置ク)

418. (1) 形容詞若クハ分詞 (2) 持格ノ名詞又ハ代名詞 (3) 若クハ形容詞ニ用非タル名詞若クハ名動詞ノ外カ他ノ語ハ通則トシテ動詞ト其ノ賓言ノ間ニ置ク可カラズ

例ヘバ I have finished *thoroughly* this work トスル時ハ英語慣用語法ニ反ケルナリ 是ハ I have thoroughly finished this work* 或ハ I have finished this work thoroughly* トセザル可カラズ

然リト雖モ次ノ如キ文ハ不正ニアラザルナリ

I have selected *the best* book. (形容詞)

(余は最上の書物を選出したリ)

I found my *friend's* house. (持格ノ名詞)

* 二文共同意「余は全く此の仕事を終りたり」

(余は余の友の家を見出せし)

Call for the *village* watchman. (形容詞=用キタル名詞)
(村番人を呼び求めよ)

Relative and Antecedent.

関係言ト先行言

419. 関係代名詞若クハ関係副詞ハ必ズ其ノ先行言ニ可
成的近ク置カザル可カラズ 例ヘハ

I have read a translation of Plato's writings, who
succeeded Socrates.

(余はソクラテスに繼ぎたるプラトーノ著書の譯書を読みたり)

此ノ文ハ I have read the writings of Plato, who succeeded
Socrates.

(ソクラテスに繼ぎたるプラトーの書余は読みたり)

トスル方一層ヨシトス何トナレハ此ク變ズル時ハ writings
ナル語ニテ関係代名詞ト其ノ先行言ヲ分離スルコトナケレ
ハナリ

Preposition and Object.

前置詞ト賓言

420. 散文ニテハ(詩ニ於テハ必ズシモ然ラズ)前置詞ハ
直チニ其ノ賓言ノ前ニ置ク 然レモ次ノ例外ヲ注意セザル
可カラズ

(a) 前置詞ノ賓言ガ whom, which 若クハ what ナル
時ニハ前置詞ヲ文ノ初ニ置キ其ノ賓言ヲ文ノ終リニ置ク
ヲ得ベシ 例ヘハ

That is the man *whom* we were looking for. (関係代名詞)

(其は我等が尋ねつゝありし所の人なり)

Which of these chairs did you sit on.? (疑問代名詞)
(此等の椅子の何づれに汝は坐せしや)

(b) 前置詞ノ賓言ガ that ナル関係代名詞ナル時ハ前
置詞ハ必ズ之ヲ文ノ終リニ置ク 例ヘハ

This is the man *that* we were looking for.
(是れ我等が尋ねつゝありし所の人なり)

(c) 前置詞ノ賓言ガ略シタル関係代名詞ナル時ハ前
置詞ハ必ズ之ヲ文ノ終リニ置ク 例ヘハ

This is the man (whom ヲ略セリ) we were looking for.

(d) 持格ノ名詞又ハ代名詞其他形容ノ語ナラハ如何
ナル語ニテモ前置詞ト其ノ賓言ノ間ニアルヲ得ベシ 例
ヘハ

He came to the barber's shop.
(彼は理髪師の店に來りし)

(e) 詩ニ於テハ時トシテハ前置詞ヲ其ノ名詞ノ次ニ
置クコトアリ 例ヘハ

They dashed that rapid torrent *through*.
(彼等は其の急なる流を貫きて推進みし)

(註 torrent ハ through ナル前置詞ガ支配セル名詞ナ
リ即チ through ノ賓言ナリ)

第十三章文章論註解補遺

384.

(1) I ハ did ナル動詞ノ主言ニテ主格ナリ

(2) man ハ am ナル動詞ノ主言的完成言ニシテ主格ナ
リ

備考 to be ナル不定法ハ appeared ナル動詞ト man (主

言的完成言) ナル名詞ノ間ニアリ此ノ場合ハ勿論動詞ノ
主言的完成ニツキテ云ヘルモノナリ

- (3) carpenter ナル名詞ハ John ナル主格ノ名詞ニ同格
ニシテ從フテ主格ナリトス
- (4) Caesar ハシーザーニ對シテ呼ヒ掛クル爲ニ用キシ
モノナレバ主格ナリトス
- (5) he remaining behind ハ獨立ノ組立ニシテ此ノ中ノ
he ハ主格ナリ

備考 remaining ナル分詞ニハ remained ナル定動詞ヲ含
ミ he ハ此ノ定動詞ノ主言ナリ從フテ主格トナルナリ

385.

- (b) brother ト Philip ハ同格トナリ居レリ故ニ最初ノ
brother ニハ 's ヲ附セス
- (c) mine 及ビ yours ハ共ニ is ナル動詞ノ完成言トナ
レリ
barber's ハ seems ナル動詞ノ完成言ナリ

386.

- (2) King ハ made ナル動詞ノ賓言的完成言ナリ
備考 此ノ不定法云々ノトモ (2) ノ動詞ノ主言的完成言
ノ場合ニツキテ云フナリ
- (3) King ハ Charles I ナル賓格ノ名詞ニ同格ナリ
- (5) ten years ハ恰カモ副詞ノ如ク lived ナル動詞ヲ形
容セリ
- (6) him 及ビ grove ハ共ニ賓格ナリ

389.

He went away *sad* ノ *sad* ハ went ナル動詞ヲ形容スル
sadly ナル副詞ヲ變ジテ形容詞トセシモノニシテ之ヲ副
詞トシテ文ヲ書キ改ムレバ

He *sadly* went away.

399.

(b) ノ備考ハ §384(5) ノ備考ヲ參照セバ一層明白ナラン

416.

- (2) correlative words 語ノ意義互ニ深ク關係シ共ニ用ユ
ルニ非ズンバ殆ンド其ノ用ヲナサザルモノヲ云フ
例文中ノ相關語ハ次ノ如シ

As.....so.....

The more.....the less.....

So.....that.....

No sooner.....than.....

Scarcely.....before.....

當初上中下三篇を以て全部完結せしむべき豫
定なりしも紙數意外に増し爲に第十四章以下
追加終尾に到るまで更に之を續篇とし旬日の
中に出版することゝなれり讀者之を諒せよ

著 者 識

明治卅三年三月一日印刷
明治卅三年三月五日發行

譯述者

喜內又之助

發行者

東京市神田區今川小路二丁目五番地
金刺源次

印刷者

同市本郷區湯島一丁目二、三番地
松本秋齋

印刷所

同市本郷區湯島一丁目二、三番地
株式會社 萩光社

販賣所

同市神田區今川小路二丁目五番地
(電話本局七六六番)
金刺芳流堂

同

同市牛込區新町三十二番地
武田芳進堂

同

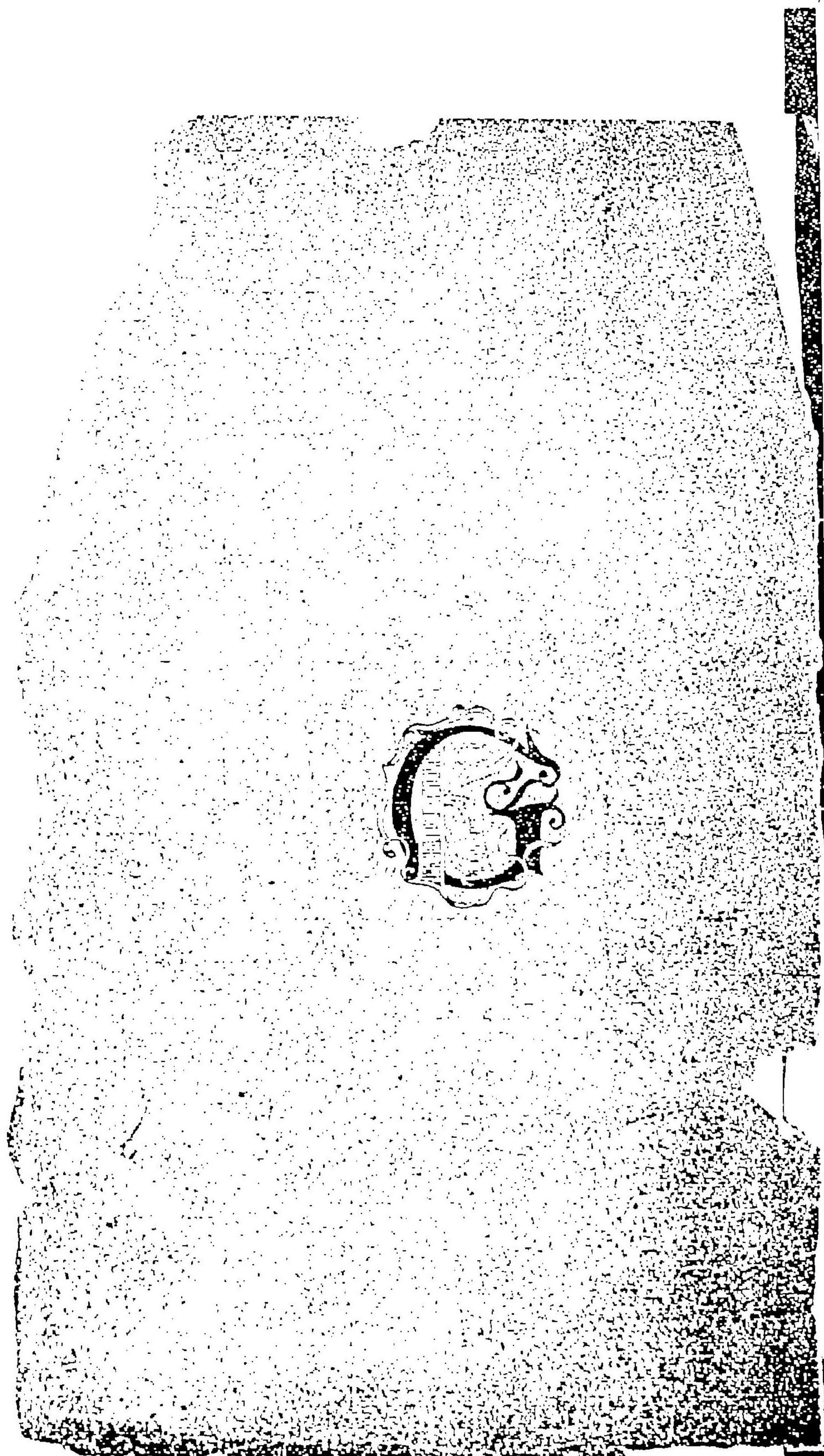
大阪市備後町四丁目
小谷卯三郎

同

同市吉岡町
吉岡平助

賣捌人

東京市神田區雜子町
岡崎屋書店



083211-001-9

特27-497

英文典講義 第3, 4卷

ネスフィールド/著

M33.35

DAH-0698

